

平成29年度 社会福祉法人ときわ会 事業報告書(案)

自 平成29年 4月 1日
至 平成30年 3月31日

1. 法人の概況

事務局所在地	: 江南市河野町五十間88番地
電話番号	: (0587) 57-7551
代表者職氏名	: 理事長 大池良平
許可年月日	: 昭和55年12月18日
認可番号	: 厚生省収児第1167号
設立登記年月日	: 昭和56年 1月 7日

2. 法人の行う事業

平成30年3月31日現在

社会福祉事業	第一種	施設種別 : 障害者支援施設 (生活介護・施設入所支援) 名称 : ふじの木園 施設長名 : 春日井昌市 定員 : 50名
	第二種	事業種別 : 障害福祉サービス事業 (生活介護) 名称 : ときわ作業所 施設長名 : 三ツ口和男 定員 : 55名
		事業種別 : 地域活動支援センター (Ⅱ型) 【江南市指定管理】 名称 : 江南市在宅障害者デイ・サービス施設あゆみ 施設長名 : 春日井裕美 定員 : 25名
		事業種別 : 地域活動支援センター (Ⅲ型) 【江南市指定管理】 名称 : 江南市心身障害者小規模授産施設 施設長名 : 三ツ口和男 定員 : 概ね15名
		事業種別 : 障害福祉サービス事業 (短期入所) 名称 : ふじの木園 施設長名 : 春日井昌市 定員 : 5名
		事業種別 : 障害福祉サービス事業 (共同生活援助 (介護サービス包括型グループホーム)) 名称 : ときわホーム「ニコット」 施設長名 : 三ツ口和男 定員 : 6名
		事業種別 : 障害福祉サービス事業 (特定相談支援) 名称 : ふじの木園 施設長名 : 春日井昌市

公益事業	事業種別	: 貸館事業【江南市指定管理】
	名称	: 江南在宅障害者デイ・サービス施設あゆみ
	施設長名	: 春日井裕美
	定員	: 25名
	事業種別	: 日中一時支援事業
	名称	: ときわ作業所
	施設長名	: 三ツ口和男
	定員	: 5名
	事業種別	: 日中一時支援事業
	名称	: ふじの木園
	施設長名	: 春日井昌市
	定員	: 5名

3. 職員数

平成30年3月31日現在

施設名	事業名	雇用別		施設長	副施設長	サビ管	看護師	栄養士	相談員	支援員	事務員	介助員	運転手	世話人	計	合計	
		常勤	非常勤														
ふじの木園	日中一時 施設入所支援 生活介護	正規	1 (1)	※1	1	1	1			17 (1)	2				23 (2)	31 (2)	
		契約								1					1 (0)		
		非常勤								7					7 (0)		
	特定相談支援	常勤	正規	1 (1)						2 (1)						3 (2)	3 (2)
		契約													0 (0)		
		非常勤													0 (0)		
ときわ作業所	日中一時 生活介護	常勤	正規	1 (1)		1				5 (5)	1				8 (6)	24 (10)	
		契約								6 (1)					6 (1)		
		非常勤					1 (1)			9 (2)					10 (3)		
ときわホーム	共同生活援助	常勤	正規	1 (1)		1 (1)				4 (4)				※5	6 (6)	12 (7)	
		契約								1 (1)				※1	1 (1)		
		非常勤								※4			5		5 (0)		
あゆみ (II)型	地域活動 センター	常勤	正規	※1						3	1 (1)				4 (1)	12 (4)	
		契約													0 (0)		
		非常勤					2 (1)			3		3 (2)			8 (3)		
小規模 (III)型	地域活動 センター	常勤	正規	1 (1)						2	1 (1)				4 (2)	6 (2)	
		契約								1					1 (0)		
		非常勤								1					1 (0)		

- ・職種の「サビ管」は「サービス管理責任者」の略
- ・職員数の（ ）は他事業所との兼務として再掲
- ・職員数の※は同一事業所内での兼務

法人事務局	雇用別		事務局長	事務局参事	事務局次長	事務主幹	事業主幹	事業員	事務員	計	合計
	常勤	正規	(1)	(1)	(2)	(1)	(1)	(2)	(3)	0 (11)	0 (11)
		契約								0 (0)	
	非常勤								0 (0)		

4. 主務官庁指示に関する事項（運営）

ア 指定特定相談支援事業者等実地指導（江南市）

監 査 実 施 日	平成30年1月23日
監 査 方 法	実地指導
監 査 対 象 事 項	特定相談支援事業 ふじの木園
監 査 実 施 官 庁	江南市健康福祉部 福祉課 障害者支援グループ

指 示 事 項	履 行 状 況
平成30年1月25日付 江南市長 澤田和延 29江福290-2号 監査対象：ふじの木園 監査結果：指摘事項なし	

イ 社会福祉法人等の指導監査（愛知県）

監 査 実 施 日	平成30年1月26日
監 査 方 法	書面監査
監 査 対 象 事 項	障害者支援施設 ふじの木園
監 査 実 施 官 庁	愛知県健康福祉部 健康福祉総務課 法人監査グループ

指 示 事 項	履 行 状 況
平成30年5月10日付 愛知県健康福祉部長 30健福第82-15号 監査対象：ふじの木園 監査結果：指摘事項なし	

5. 契約に関する事項

平成30年3月31日現在

契約年月日	相手方名称	目的	期間	賃貸料	その他
平成12年 4月 1日	江南市	更生施設用地	30年	無償	申出更新
平成13年 4月 1日	堀場美喜夫	畑	1年	無償	自動更新
平成29年 4月 1日 (平成14年4月1日)	滝敏美	畑	1年	無償	自動更新
平成14年 4月 1日	伊藤昇	畑	1年	無償	自動更新
平成14年 4月 1日	森博一	畑	1年	無償	自動更新
平成19年12月18日	高田大覚	畑	1年	無償	自動更新

6. 寄付金に関する事項

平成30年3月31日現在

寄付の目的	寄付者 (敬称略)	件数 件	金額 円
法人本部	匿名	1件	12,000円
	株式会社番屋	1件	20,200円
	江南市農業まつり運営協議会	1件	13,150円
	ときわ会後援会	1件	215,041円
	ふくし江南ふれあいまつり実行委員会	1件	52,950円
	江南市民生委員 障害福祉部会	1件	3,000円
	すいとびあヨガ教室	1件	10,000円
	尾西徳之	1件	50,000円
	小計	8件	376,341円
ふじの木園	森内本造	13件	194,000円
	ふじの木園保護者会	3件	3,817,200円
	小計	16件	4,011,200円
ときわ作業所	長谷川豊	11件	123,000円
	仲市美智恵	1件	5,000円
	ときわ・小規模保護者会	1件	15,000円
	高木康秀	1件	500,000円
	小計	14件	643,000円
合計		38件	5,030,541円

7. 資産（土地・建物）の状況

平成30年3月31日現在

科目	所在地	地目又は構造	面積		用途	担保提供の状況			抵当権設定 年月日	
			定款	登記簿		提供の有無	提供先	所轄庁の 承認の有無		
基本財産			㎡	㎡						
1 土地	江南市後飛保町高瀬69番	宅地	926.08	926.08		無				
	江南市後飛保町高瀬68番	宅地	260.00	260.00		無				
	江南市河野町五十間115番	宅地	962.00	962.0		無				
	江南市後飛保町高瀬67番1	雑種地	35	35.00		無				
	江南市後飛保町高瀬67番2	雑種地	57	57.00		無				
	江南市後飛保町高瀬67番3	雑種地	50	50.00		無				
	江南市後飛保町高瀬67番4	雑種地	75	75.00		無				
	江南市後飛保町高瀬67番5	雑種地	31	31.00		無				
	江南市後飛保町高瀬54番	雑種地	194	194.00		無				
	江南市後飛保町高瀬55番	雑種地	302	302.00		無				
	江南市河野町五十間87番	雑種地	321	321.00		無				
	江南市宮田神明町190番	畑	365	365		無				
	2 建物	江南市後飛保町高瀬69番地	鉄筋コンクリート造 陸屋根2階建	900.32	900.32	ときわ作業所	無			
		江南市後飛保町高瀬68番地								
江南市河野町五十間88番地		鉄筋コンクリート造 4階建	2,112.51	2,112.51	ふじの木園	有	独立行政法人 福山医療機構	有	平成14年2月28日	
江南市河野町五十間115番地		木造平屋建	257.35	257.35	ときわホーム	無				

8. 理事会開催状況

開催年月日	議 題	監事出席
平成29年 5月30日	議案第1号 社会福祉法人ときわ会評議員候補者の選出について 議案第2号 社会福祉法人ときわ会評議員選任・解任委員会の招集について 議案第3号 社会福祉法人ときわ会理事の任期満了に伴う理事候補者の選出について 議案第4号 社会福祉法人ときわ会監事の任期満了に伴う監事候補者の選出について 議案第5号 社会福祉法人ときわ会役員等報酬規程（案）について 議案第6号 平成29年度社会福祉法人ときわ会社会福祉事業区分第1次資金収支補正予算について 議案第7号 平成28年度社会福祉法人ときわ会「本部」・「ふじの木園」・「ときわ作業所」・「ときわホーム」・「小規模授産施設」・「あゆみ」の事業報告について 議案第8号 平成28年度社会福祉法人ときわ会社会福祉事業区分収支決算について 議案第9号 社会福祉法人ときわ会社会福祉充実計画（案）について 議案第10号 社会福祉法人ときわ会評議員会の招集事項について	有
平成29年 6月19日	議案第11号 社会福祉法人ときわ会理事長の任期満了に伴う理事長の選任について 議案第12号 社会福祉法人ときわ会旅費規程の一部改正について 議案第13号 社会福祉法人ときわ会福祉サービスに関する苦情解決規程の一部改正について 議案第14号 社会福祉法人ときわ会施設運営会議設置要綱の一部変更について 議案第15号 社会福祉法人ときわ会第三者委員の任期満了に伴う第三者委員の選任について	有
平成30年 3月15日	議案第16号 社会福祉法人ときわ会評議員の辞任に伴う評議員候補者の選出について 議案第17号 社会福祉法人ときわ会評議員選任・解任委員会の招集について 議案第18号 社会福祉法人ときわ会理事の辞任に伴う理事候補者の選出について 議案第19号 社会福祉法人ときわ会ときわ作業所施設長辞任に伴う施設長の選任について 議案第20号 社会福祉法人ときわ会法人本部事務局事務局参事の辞任に伴う事務局参事の選任について	有

<p>議案第21号 社会福祉法人ときわ会職員給与等支給規程の一部改正について</p> <p>議案第22号 社会福祉法人ときわ会契約職員雇用規程の一部改正について</p> <p>議案第23号 社会福祉法人ときわ会パート職員雇用規程の一部改正について</p> <p>議案第24号 社会福祉法人ときわ会育児・介護休業等に関する規則の一部変更について</p> <p>議案第25号 社会福祉法人ときわ会施設運営会議設置要綱の一部変更について</p> <p>議案第26号 平成29年度社会福祉法人ときわ会社会福祉事業区分第2次資金収支補正予算について</p> <p>議案第27号 平成30年度社会福祉法人ときわ会「本部」・「ふじの木園（支援施設）」・「ふじの木園（相談事業）」・「ときわ作業所」・「ときわホーム」・「小規模授産施設」・「あゆみ」の事業計画（案）について</p> <p>議案第28号 平成30年度社会福祉法人ときわ会社会福祉事業区分資金収支予算（案）について</p> <p>議案第29号 社会福祉法人ときわ会評議員会の招集事項について</p>	有
--	---

9. 評議員会開催状況

開催年月日	議 題	監事出席
平成29年 6月19日	<p>議案第1号 社会福祉法人ときわ会理事の任期満了に伴う理事の選任について</p> <p>議案第2号 社会福祉法人ときわ会監事の任期満了に伴う監事の選任について</p> <p>議案第3号 社会福祉法人ときわ会役員等報酬規程の制定について</p> <p>議案第4号 平成29年度社会福祉法人ときわ会社会福祉事業区分第1次資金収支補正予算について</p> <p>議案第5号 平成28年度社会福祉法人ときわ会「本部」・「ふじの木園」・「ときわ作業所」・「ときわホーム」・「小規模授産施設」・「あゆみ」の事業報告について</p> <p>議案第6号 平成28年度社会福祉法人ときわ会社会福祉事業区分収支決算について</p> <p>議案第7号 社会福祉法人ときわ会社会福祉充実計画について</p>	有
平成30年 3月29日	<p>議案第8号 社会福祉法人ときわ会理事の辞任に伴う理事の選任について</p> <p>議案第9号 平成29年度社会福祉法人ときわ会社会福祉事業区分第2次資金収支補正予算について</p>	有

	議案第10号 平成30年度社会福祉法人ときわ会「本部」・「ふじの木園（支援施設）」・「ふじの木園（相談事業）」・「ときわ作業所」・「ときわホーム」・「小規模授産施設」・「あゆみ」の事業計画（案）について 議案第11号 平成30年度社会福祉法人ときわ会社会福祉事業区分資金収支予算（案）について	有
--	---	---

10. 監事の監査状況

監査年月日	監査氏名	監査における指示・指摘事項	備考
平成29年 5月16日	青山 透 陸浦歳之	平成28年度において、事業全般に渡り適正に運営され、経理面においても適正に処理されていることを認める	

11. 評議員選任・解任委員会の開催

開催年月日	議 題	備考
平成29年 6月8日	議案第1号 社会福祉法人ときわ会評議員の選任について	
平成30年 3月23日	議案第2号 社会福祉法人ときわ会評議員の選任について	

12. 施設運営会議の開催

委員長：佐々木直(理事)

委員：陸浦歳之(評議員) 中西和子(評議員) 大脇昭夫(評議員)

三ツ口和男(ときわ作業所施設長) 春日井昌市(ふじの木園施設長)

事務局：本間浩平(事務局次長) 春日井裕美(事務局次長)

古田貴(事務主幹) 林宏和(事業主幹)

開催年月日	内 容	備考
平成29年 4月17日	・業者指名審査事務取扱要領の変更について ・業者指名審査(給食業務委託業者)について ・社会福祉充実計画について	
平成29年 5月24日	・理事会の内容について	
平成29年 6月15日	・定時評議員会の内容について ・理事会の内容について	
平成29年 12月26日	・ときわバザーの決算報告について ・契約雇用規程及びパート雇用規程の一部改正について ・育児介護休業等に関する規則の一部変更について ・無資格支援員の正規職員配置及び契約職員の処遇改善について ・今後のときわ会の事業等の方向性について	

平成30年 1月31日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度事業計画及び予算の骨子について ・職員の確保定着・処遇改善について ・理事会、評議員選任・解任委員会及び評議員会の内容について 	
平成30年 3月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会の内容について ・評議員選任・解任委員会資料について ・臨時評議員会の内容について 	

1.3. 事務局会議の開催

委員長：春日井昌市(事務局長)

委員：三ツ口和男(事務局参事) 本間浩平(事務局次長)

春日井裕美(事務局次長) 古田貴(事務主幹) 林宏和(事業主幹)

開催年月日	主 な 内 容	備考
平成29年 4月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・施設運営会議について ・後援会総会について 	
平成29年 5月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・法人監査について ・施設運営会議について ・後援会総会について ・中期計画の達成状況について 	
平成29年 6月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員選任・解任委員会について ・施設運営会議について ・職員採用試験について 	
平成29年 9月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・無期労働契約への転換の対応について ・職員求人難に伴う人材紹介業者の活用について 	
平成29年 10月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・無期労働契約への転換の対応について ・ときわ・小規模保護者会によるアンケートについて 	
平成29年 11月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・職務分掌の見直しについて ・今後の事業等の方向性について 	
平成29年 12月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・職務分掌の見直しについて ・地域生活拠点支援事業の先進事例の調査研究について 	
平成30年 1月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・職務分掌の見直しについて ・事業計画・予算に関わる課題について 	
平成30年 2月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画案について ・予算案について ・規程等の一部改正について ・評議員及び役員の辞任と選任等について ・特定相談支援事業所実施監査の報告について ・地域拠点生活事業の先進事例視察報告について 	
平成30年 3月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・施設運営会議について ・平成30年度会議・部会・実行委員会等について ・職員全体会議について 	

1 4. 施設間連絡調整会議の開催

委員長：長縄健（相談主幹） 副委員長：古田貴（事務主幹）

委員：春日井裕美（指導主幹） 大川内誠（支援主幹） 林宏和（支援主幹）

総括：本間浩平（ふじの木園副施設長）

開催年月日	主 な 内 容	備 考
平成29年 4月6日	・事業報告・決算スケジュールについて ・あゆみ田楽会について	
平成29年 5月1日	・理事会・評議員会の議案等について ・各部会等の活動予定について	
平成29年 7月10日	・心身障害者（児）連絡協議会の報告について ・ときわホームバックアップの検討について	
平成29年 8月29日	・夜勤・宿直者の健康診断について ・ときわバザーについて	
平成29年 9月28日	・職員インフルエンザ予防接種について ・ときわバザーについて	
平成29年 11月6日	・常勤職員の健康診断について ・交流会について	
平成29年 12月4日	・事業計画・予算スケジュールについて ・ときわバザーを振り返って	
平成30年 1月10日	・今後の会議等の日程について ・交流会について	
平成30年 2月8日	・理事会・評議員会の議案等について ・交流会を振り返って	

1 5. 中期計画の平成29年度の取り組みについて

(1) 社会福祉法等の改正への対応と法人の組織強化について

ア 社会福祉充実計画（平成29年度～平成33年度）

5年計画の1年目の事業として行った職員の処遇改善については、処遇改善手当、夜勤・宿直手当、資格手当の拡充、主幹職の配置による管理職範囲の拡大、60歳以上の給料の支給方法等を整備し、職員の確保定着につなげることができた。また、職員の増配置については、処遇改善等の効果により、支援員5名等の採用ができた結果、各事業所の標榜する職員数に近づきつつあるものの、法人全体での職員のバックアップ体制を整える上で必要な増配置に向けた採用活動が引き続き必要な状況である。

イ 法人事務局の設置

平成29年4月に設置し、事務局職員を中心に法人の運営全般を掌理することに努めた結果、社会福祉法の改正等に対応した事務を適切に行なうことができた。また、役職員の体制の整備等により、法人の組織を強化することができた。

[主な会議等]

・事務局会議（年9回開催）

(2) 職員の確保定着・処遇改善について

職員の確保定着については、処遇改善手当等の拡充や採用活動を強化した結果、支援員5名、栄養士1名、事務員1名の採用と現職員の定着につなげることができた。看護師は、求人難が続いているため、有料人材紹介業者を活用した採用活動を開始した。また、今後、正規支援員を採用するための対象条件を広げるため、正規職員としての資格要件を満たさない無資格正規職員の配置ができるよう規程を改正した。

処遇改善については、育児休業の再延長、契約・パート職員に対する無期労働契約制度の導入、契約職員への住居手当の支給を開始するため規程を改正した。

[主な会議等]

・職員全体会議（平成30年3月30日開催）

(3) 将来的な入所系施設整備の研究について

新たな入所系施設の整備の必要性とともに、ふじの木園の定員減や個室化、ときわ作業所の定員減や老朽化に伴う大規模修繕等の既存の事業の課題を整理し、それぞれの取り組みの是非と優先順位について具体的な検討を進めていくこととなった。

(4) 緊急時の対応への取り組みについて

ア 防災計画の協議

各事業所の非常災害対策計画を職員や利用者の実状に合った内容に見直した。ふじの木園では江南市消防本部による警防調査を受け、館内の構造や避難経路の確認等を行った。また、ときわ作業所では地震等の対策として、外周に飛散防止フィルムを設置した。あゆみにおいては非常用持ち出し袋や近隣の避難場所の確認を行った。

イ 防犯対策の検証

各事業所で防犯対策の点検等を行った。ふじの木園では防犯システムを導入している警備会社を講師として招き、システムの操作方法の確認や、不審者対応の心構えについて受講した。また、ときわ作業所では不審者等の対策として外周に飛散防止フィルムを設置した。あゆみにおいては連休等三日以上の休館がある際には館内外の見回りを強化して行った。

(5) 各施設・事業所の中期計画の検証について

法人本部、施設・事業所の中期計画(第2期 平成29年度)の達成度や実施状況等について検証し、次年度の中期計画(第3期 平成30年度)の内容の改善や見直しの必要性を整理し、平成30年度の事業計画の中に位置付けた。

[主な会議等]

・法人事業推進部会（年4回開催）

平成29年度 ふじの木園（支援施設） 事業報告書（案）

1 ふじの木園の運営

設置主体 社会福祉法人 ときわ会
 経営主体 社会福祉法人 ときわ会
 事業種別 指定障害者支援施設(施設入所支援・生活介護事業)
 施設名 ふじの木園
 所在地 江南市河野町五十間88番地
 事業内容と定員 障害者支援施設
 (1) 施設入所支援 50名 (現員47名)
 (2) 生活介護 50名 (現員47名 施設入所と同者)
 (3) 短期入所 5名 (随時)
 (4) 日中一時支援 5名 (随時)

対象者 障害支援区分4以上（50歳以上は区分3以上）である者
 職員等 [職員]・常勤24名（正規23名・契約1名）・非常勤7名 計31名
 [他]・嘱託医（内科）1名
 ・講師（音楽療法・軽運動・機能訓練）5名 計6名

職員

(単位：人)

	施設長	サービス管理責任者 兼副施設長	事務員		支援員		
			事務主幹	事務員	支援主幹	支援副主任	支援員
男	※ ₁ 1	1	1	1	1		8
女	0	0	0	0		※ ₂ 1	8 (7)
合計	1	1	2		18 (7)		

	看護師	栄養士	合計
男	0	0	13
女	1	1	11 (7)
合計	1	1	24 (7)

() 内は非常勤職員数、別掲

※₁は特定相談支援事業所施設長を兼務

※₂は特定相談支援事業所相談副主任を兼務

2 事業総括

障害者支援施設

(1) 施設入所支援・(2) 生活介護

施設入所支援は、夜間及び休日において、入浴や排せつ、食事等の支援を行ってきた。

生活介護は、平日の日中において、施設入所支援同様の生活支援に加え、高齢化、重度化に対応した班を含めた4つの活動班からなる生産活動、音楽療法等の療育活動及びクラブ活動等の創作的活動に取り組んだ。

施設の課題である利用者の高齢化、重度化の進行に対応するため、支援面では生活場所や介助の見直しを多く行った。環境面では浴室リフトの入れ替えや、トイレの洋式化等を行い、昨年度整備した呼び出しコールを引き続き活用し、夜間就寝中の排尿やトイレ誘導の介助に備える等、安全な支援に努めた。また、職員・保護者を対象に成年後見人についての内部研修を行い、制度の理解を深めた。

職員数は配置基準を満たしているものの、支援員数が前年度よりも減少したため、予定変更も多くあったが、自主製品作りに特化した特別班の実施や職種間の連携により、利用者の生活への影響を最小限に止めた。

利用者数は、男性は2月に健康上の理由による1名、3月に高齢者施設への移行による1名の計2名、女性は4月に高齢者施設への移行による1名、11月に逝去されたことによる1名の計2名、男女合計4名の退所があり、8月に女性1名の入所があった。また、男性1名の長期入院もあり、年間を通しての総利用者数、利用率、利用延べ日数は減少した。

利用料収入は、退所者や長期入院があったことなどにより、昨年度より620,140円、率では0.3%の減収であった。

(3) 短期入所・(4) 日中一時支援

短期入所は、家庭の事情による急な受け入れもあったが、江南市基幹相談支援センターや他の相談支援事業者との連携により、円滑なサービスを提供することができた。

日中一時支援は、他の通所系事業所での活動後からの一時的な受入れ等により、必要な支援を行うことができた。

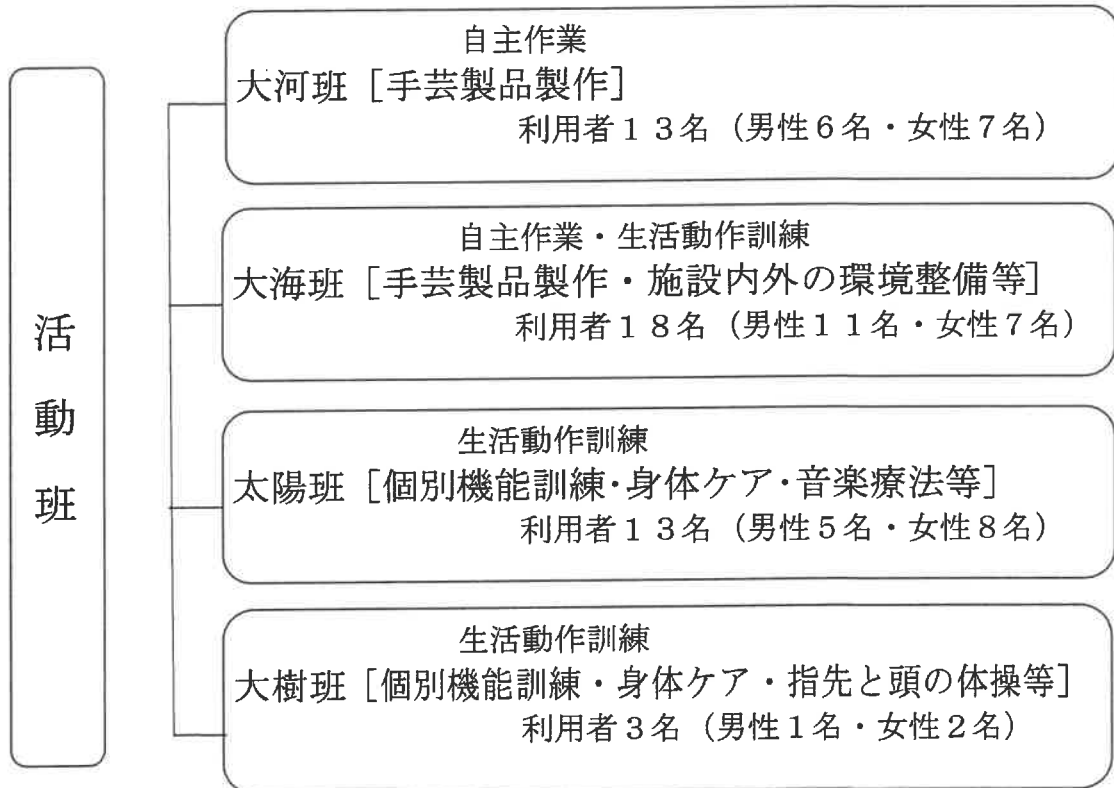
また、短期入所の利用率は増加し、日中一時支援の利用率は減少した。合わせた額で昨年度より227,438円、率では3.7%の増収であった。

事業内容

1 生産活動

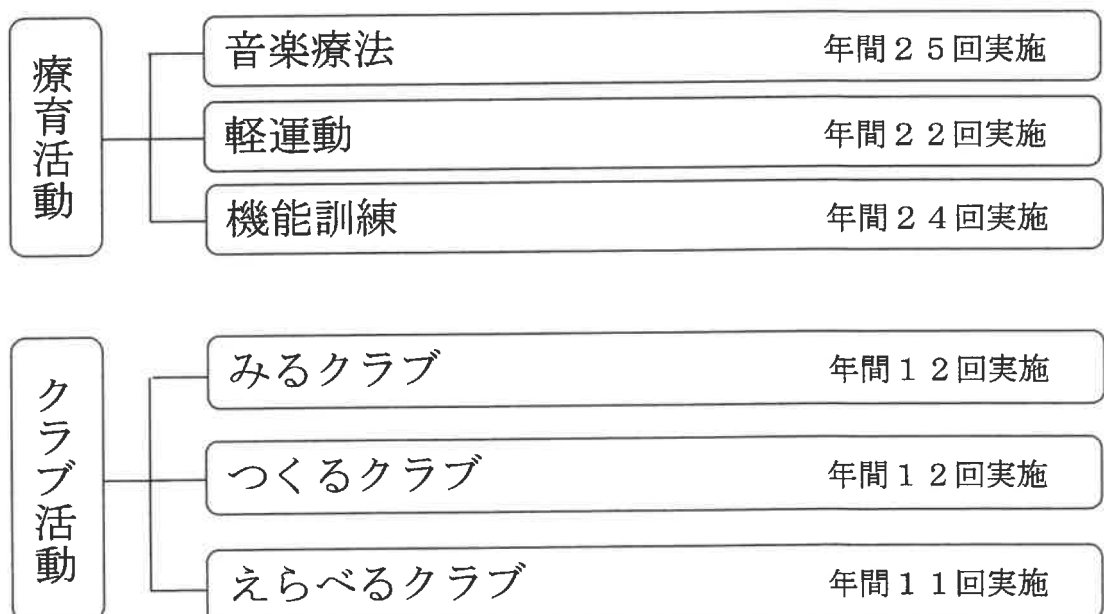
利用者の作業能力に応じた様々な生産活動を通して、身体機能や生活能力の向上を図った。

平成30年3月31日現在



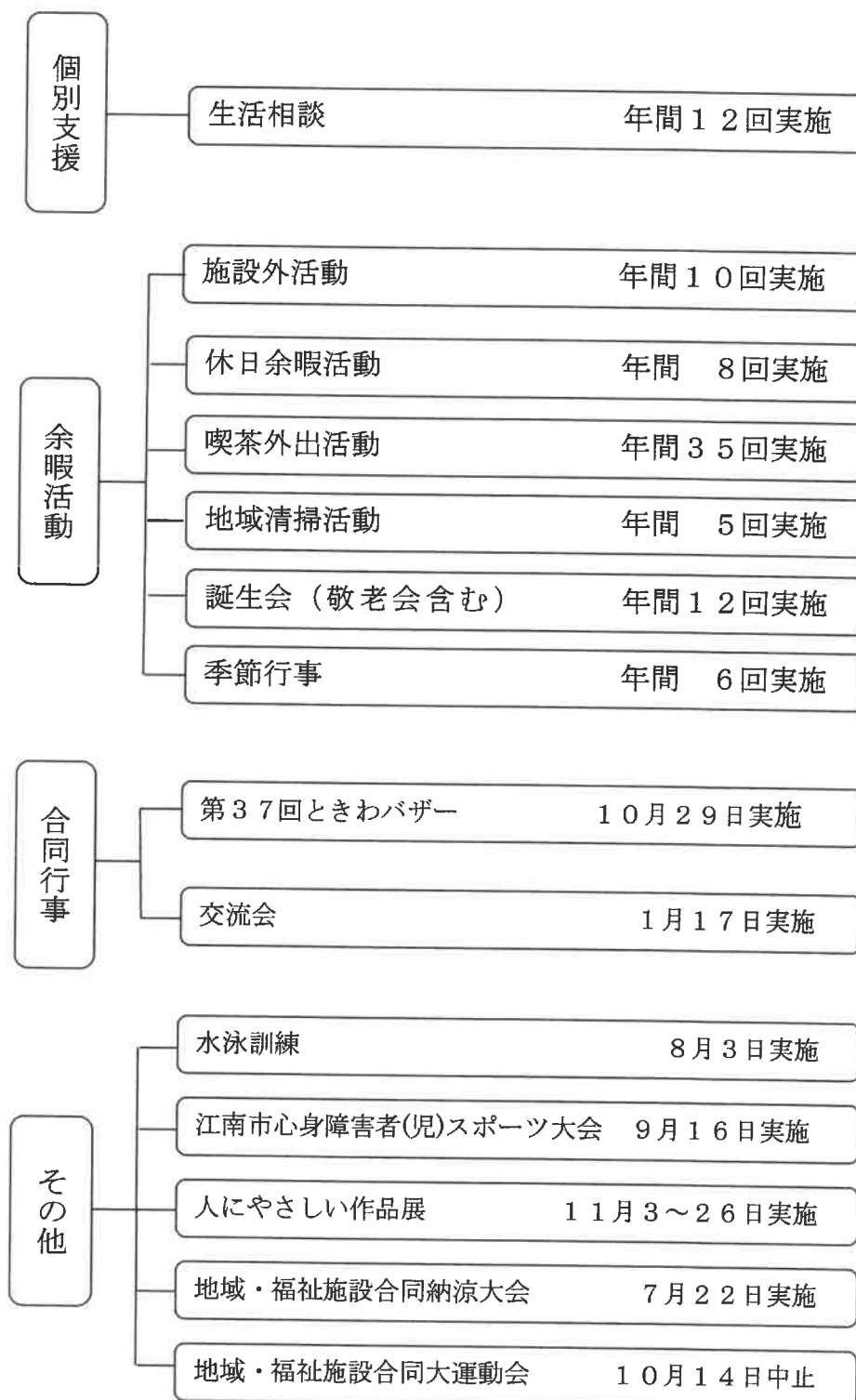
2 創作的活動

音楽やスポーツ、書道やDVD鑑賞等の創作的活動を通して、興味や趣味を持ち、施設生活の向上を図った。



3 その他の活動

利用者の環境、年齢及び心身の状況に応じた個別支援や余暇活動等を行い、施設生活の充実と地域への積極的な参加を図った。



4 医療支援

【入院】

精神科 2 件

その他の診療科 4 件(ポリープ手術、肺炎・尿路感染、食欲低下・全身管理)

【通院】

障害者歯科通院について

親の高齢化等により、コロニーでの歯科治療を受けることが困難になり、さらに重度で一般歯科での治療が困難な利用者のため、施設対応による心身障害者歯科診療を行っている一宮口腔衛生センターへの通院を開始した。受診前のアンケートで本人の状態を伝えた上で診察するので、安心して受診することができた。また、障害を理解し、安全に診察ができる設備が整い、保護者同伴の受診方法により、治療方針に対して家族の同意がその場で得ることができるとや、安心して声掛けをしてもらえることが安心感につながった。

また、治療の合間には、歯科衛生士から口腔ケアのアドバイスを受けることができ、施設での口腔ケアの向上につながった。

施設内でのリハビリ運動の強化について

定期的な通院リハビリを受けることでADLの低下を防ぎ、また、機能訓練では個別・集団指導を受け、各利用者の状態に合わせた個別プログラムを日中活動時間に組み合わせることにより効果がみられた。

【回診・その他の取り組み】

- | | | |
|--------------------|---------------------|----------------------|
| ・内科回診 | 1 2 回 | 藤原誠治医師 (藤原医院院長) |
| ・歯科健診 | | 6 月 2 2 日 尾北歯科医師会 |
| ・利用者・非常勤職員健康診断 | | 7 月 2 6 日 名古屋公衆医学研究所 |
| ・支援員(夜勤者)健康診断 | 1 0 月 1 0 日 | 藤原医師 |
| ・利用者・職員インフルエンザ予防接種 | [3回に分けて実施] | |
| | 1 1 月 1 4、2 1、2 8 日 | 藤原医師 |
| ・手洗い講習 | 1 0 月 3 1 日 | 魚国総本社 |
| ・利用者健康診断 | 1 月 1 0 日 | 藤原医師 |
| ・常勤職員健康診断 | 2 月 | 江南厚生病院 |
| ・職員救急講習会 | 2 月 1 9 日 | 江南消防署 |
| ・体重測定 | 年 4 回実施 | |
| ・血圧測定 | 年 4 回実施 | |

5 給食支援

非常食の見直しについて

賞味期限の短い高野豆腐を長期保存できる春雨に変更することでマンネリ化しがちな災害時の献立内容の一部を味噌汁から中華スープに変更し、献立のバリエーションを増すことができた。

中期計画の取り組みとして選択制メニューでのデザート提供を試行し、個々の個性を尊重した食事を提供することができた。

厨房内に可動式延長コードを設置したことで、調理作業が円滑に行えるようになった。

利用者への嚥下食の提供にあたり、職員会議で見たいは普通食と変わらず、舌でもつぶせる柔らかいムース状の食べやすい「ソフト食」の試食を行ったことにより、咀嚼困難な利用者の食べる楽しみを大切にしたい嚥下食の提供の必要性を職員間で共有することができた。

[主な取り組み]

- | | |
|---------------|----------------------------|
| ・行事食 | その都度（7月うなぎ丼、2月恵方巻き等） |
| ・セレクトメニュー | 毎月1回（チキンカツ 又は かつおのたたきの選択等） |
| ・誕生者リクエストメニュー | 誕生日（誕生者が希望した一品） |
| ・料理長のいちおしメニュー | 月1回（天津飯・鶏肉の香草パン粉焼き等） |

[給食委託業者]

- ・魚国総本社

6 地域移行への支援

施設の入所者であっても、施設生活から地域生活への移行を目標に長期的な取り組みとして、「外出して～をしたい」、「～へ外出に行きたい」等の日頃の利用者からの希望を勘案して、ショッピングモール等の地域資源を活用し、地域社会との関わりに努めた。

7 ときわホームへのバックアップ

主に夜間や休日における医療や災害等でときわホームの利用者に緊急の対応が必要となった際の協力施設としての役割に備えた。

平成29年度 緊急対応 0件

8 中期計画の平成29年度の取り組みについて

(1) 支援面について

ア 個々の個性を尊重した支援の調査研究

衣服や理美容については利用者が余暇時間にファッション誌の閲覧ができるようにした。「かっこ良くて着てみたい服があった。」等の意見が聞かれ、衣服への関心が高まり、普段着と外出時を区別する意識を持つことにつながった。

食事については支援員が各テーブルを回り、3種のデザートから1つを選ぶ選択形式の提供を行った。「好きなものが選べてよかった。」との意見が聞かれ、それぞれの嗜好に沿う形で、楽しみながら選択してもらうことができた。

(2) 生活環境について

ア 機械浴槽の導入

機械浴槽の導入については大がかりな設備が必要となり、複雑な工事を伴っていくため、今後の課題として研究を続けていくこととし、入浴用リフトの点検・整備を行い、特に需要のある男性側リフトを入

れ替えた。また、浴室で利用する介助椅子は障害の重度化に伴い、リクライニング機能や安全ベルトが2か所ある等、より安心安全で利用者の負担に配慮した物に入れ替えた。

イ 高齢者施設及び関係機関との連携

高齢者介護が必要となったことにより、男女各1名ずつの合計2名の利用者が高齢者施設へ移行した。移行に向けた支援として家族や特定相談支援事業所、江南市高齢者生きがい課、受け入れ側の高齢者施設と連携し、必要な情報提供を行い、円滑に移行を進めることができた。

(3) その他

ア 実習生の受入拡大

社会福祉士資格取得希望者の実習受入として8/7(月)～9/8(金)の間で大学生3名の受け入れを行った。また、7/1(土)、9(日)、30(日)、8/19(土)にわたって、職員1名が介護課程の理論や実習指導の方法について介護福祉士実習指導者の養成講座を受講し、次年度からの介護福祉士資格取得希望者の実習受け入れに備えた。

9 防犯対策について

相模原で起きた障害者施設での殺傷事件以降、防犯対策を強化するため以下の取り組みを行った。

[主な内容]

- ・防犯訓練の実施 11月20日 セコム株式会社
- ・来園者受付簿の実施
- ・防犯カメラ・記録システム、ガラスセンサーの設置後の点検

生産活動報告

1 大河班

[手芸製品製作] 自主作業

支援体制が整わず班活動が行えず、日課変更が多くあり、前年度に比べ、活動の回数が減ったことで製品の製作に遅れがあったが、少人数で特別班を組んだことで製品製作数の確保につなげた。通常の活動ではクッション、エコバッグを分担することで、作業を効率よく行うことができた。また、作業の合間に適宜散歩を行い、気分転換を図ることもできた。

くるみボタンゴム、くるみボタンピンは子どもフェスティバルバザー等、来場者の世代に合わせて製作を行った。

新製品としてトートバックの製作を計画したが、支援体制が整わず活動回数の減少により販売には至らなかった。

2 大海班

[手芸製品製作]自主作業

ビーズマスケット、ミサンガ製作については、年度途中の班編成の変更に伴い、製作できる利用者がいなくなったため、中止した。

クッション製作については、大河班との分業により、綿ちぎり、綿切りに精力的に取り組む、効率の良い製作につながった。

肩叩き棒製作は在庫過多となり製作数を制限した。新製品としてランチョンマットとコースターセットを製作し、販売した。

[生活動作訓練]施設内外の環境整備

施設の中庭の清掃活動に取り組み、環境美化に努めた。また、利用者の高齢化、重度化のため、機能訓練や生活動作訓練の活動を取り入れた。

3 太陽班

[生活動作訓練] 個別機能訓練、身体ケア、音楽療法

ペグボードや型はめ等の生活動作訓練や、絵本の読み聞かせや音の出る絵本、CDによる音楽療法やDVD鑑賞を行った。また、階段の昇降や園内散歩、過ごしやすい時期には散歩や中庭での日光浴やボール遊び等、太陽の光を浴びることや運動に取り組む、健康維持につなげた。

4 大樹班

[生活動作訓練]個別機能訓練、身体ケア、指先と頭の体操

支援体制が整わず班活動が行えず、日課変更により中止する日もあったが、実施するように努めた結果、月に2～8回の活動を行うことができた。

活動時は各自が関心のあるぬりえ、立体パズル、ペグボード等を行った。また、好きな音楽を流し、穏やかな環境を整えることで、楽しみながら落ち着いて行うことができた。また、気分転換を兼ねて散歩(園内散歩)を行った。

活動場所へ来ることが苦手な利用者には、地域交流スペースでDVDを放映することで参加の促しを行い、活動場所でのぬりえに取り組むことができた。

創作的活動報告

1 療育活動

①音楽療法

4月の家族との会食会への発表と1月の他施設との交流会での発表に向けて、普段の活動時以外の余暇時間や休憩時間にも練習に取り組んだ。また、課題曲の練習以外にも普段の活動では、季節や行事に応じた合唱、花や食べ物を連想するレクリエーション、曲に合わせたストレッチなどを行った。また、全員が参加できるように個々に合わせた楽器を配る等をして、楽しく参加してもらうことができた。

年間25回実施

〔行事での発表曲〕

4月 これからもよろしくね会

「いと」合唱、ハンドベル

「WAになっておどろう」合唱、リズムに合わせて体を動かす。

1月 交流会

「みんながみんな英雄」合唱

「オブラディ・オブラダ」ハンドベル

②軽運動

レクリエーションでは新しくパターゴルフ形式の的当てと、ビニールボール転がしを取り入れた。これまでも行ってきたボウリング、投球形式の的当て等と組み合わせながら、新鮮な気持ちで取り組んでもらえるよう、活動日によって内容を変えて取り組んだ。

的当てでは、活動中の様子や身体状況を踏まえ、利用者がより楽しむことができるよう必要に応じて的の位置や投球方法等を見直し、より多くの利用者が楽しむことができるよう努めた。

第18回愛知県ボッチャ競技大会には6名が3名ずつの2チームで参加した。結果は振るわなかったが、試合を通じて練習の成果を確認することができ、次回に向けての意欲につなげることができた。

江南市社協が主催する知的障がい者理解促進軽スポーツ教室には6名が参加し、江南市立北部中学校で中学生との合同チームで試合を行った。ルール説明とボールを手渡し、最後は中学生と一緒に試合をすることで、ボッチャを通じた触れ合いを行うことができた。

年間22回実施

〔大会結果〕

第18回愛知県ボッチャ競技大会 県内98チーム、30リーグ

ふじの木A・Bの2チーム参加（6名） 両チーム共にリーグ4位

〔知的障がい者理解促進軽スポーツ教室〕

北部中学校（6名）

③機能訓練

作業・理学療法士の講師のもとでグループ運動と利用者個々の状況に合わせた個別ADL指導を受けた。

グループ運動では発語訓練、棒体操、セラバンドを使用した運動プログラムを行った。参加者の多くが活動内容に慣れ、訓練を楽しみながらも、集中して取り組むことができた。

参加者一人ひとりに対する個別ADL指導では、歩行や肩・膝痛の個別の課題に対して、日頃から行うことのできる運動やストレッチ等を教わることができ、日常生活の中でも実践した。関節可動域が改善し、筋力の向上や歩行の安定等につながった。

また、機能訓練の参加者に限らず、必要に応じて利用者の身体機能の相談も行い、助言を受け、日常の支援に役立てることができた。

年度途中での退所等があり、3月31日現在で計15名が参加している。

年間24回実施

[主なグループ運動]

- ・摂食・嚥下機能訓練（首や口の動き・発声練習）
- ・準備運動（上下肢・肩関節・股関節の運動等）
- ・筋力トレーニング（棒を使った運動、セラバンドを使用した運動等）

[主な個別ADL指導]

- ・体重減少目的とした体幹の回旋、段差昇降
- ・体幹安定性向上を目的とした足踏み及び歩行運動

2 クラブ活動

①みるクラブ

プロジェクターを使用したDVD鑑賞を行った。内容は利用者のリクエストを聞きながら、見やすさ・楽しさを考慮した物を選んで放映した。

鑑賞後はその作品にちなんだ塗り絵を行い、観賞して感じたことを思い思いの色で表現しながら塗り絵を楽しむことができた。完成した塗り絵は1F廊下に掲示することで、他の利用者や保護者等の来園者にも見てもらうことができた。

年間12回実施。

[鑑賞したDVD作品]

名探偵コナン、ピーターパン、シング、ドラえもののび太の南極カチコチ大冒険、美女と野獣、ファインディング・ドリー等

②つくるクラブ

月毎のカレンダー製作を中心に、季節感のある創作活動(習字、刺し子、色塗り、掲示物作成)に取り組んだ。

活動前の参加者の希望に沿って実施したことで、各々の個性を生かした作品ができたことと、多くの来園者に見てもらえるように1F廊下に掲示できたことが、満足感や、やりがいを持つことにつながった。

年間12回実施。

③えらべるクラブ

利用者が選択した活動内容を月替わりで取り組む形式のクラブ活動“えらべるクラブ”を行った。活動内容は以下の通り。

実施月	活動内容	実施月	活動内容
4	フライングディスク練習、公園散策	10	スケッチ・写真B、公園散策
5	フライングディスク練習、公園散策	11	ウッドバーニングB
6	スケッチ・写真A、公園散策	12	ボッチャ
7	盆踊り・レクリエーション (中止)	1	ウッドバーニングC
8	フラワーアレンジメントA	2	フラワーアレンジメントB
9	ウッドバーニングA、公園散策	3	カラオケ

・フライングディスクの練習

5月に行われる県障害者スポーツ大会の練習も兼ねて出場利用者を中心に行った。

・スケッチ・写真

フラワーパーク江南へ出掛け、季節の花を撮影した。園に戻ってからは、写真立てのフレームにタイルやシールを貼ることでオリジナルの物を作製した。また、写真立てに撮影した写真を入れ居室に飾ることで、クラブ活動以降も長く楽しむことができた。

・盆踊り・レクリエーション

支援員体制が整わず中止になった。

・フラワーアレンジメント

作品に関しては居室に飾ったり、帰省時に家庭へ持ち帰る利用者もおり、保護者へクラブでの様子を伝えることもできた。

・ウッドバーニング

前年度は2回であったが、希望する利用者が多かったため、本年度は3回行った。各々が好きなイラストや季節感のあるイラストを題材にし、製作することができた。

・ボッチャ、カラオケ

希望者が楽しみながら体を動かしたり、歌を歌うことで気分転換を図ることができた。

・公園散策

ご自身で活動内容を選択することが困難と思われる利用者を対象に、過ごしやすい時期に戸外を散策し、気分転換を図った。また、木々や草花の様子から季節を感じることもできた。

年間11回実施。

その他の活動報告

1 個別支援

生活相談

毎月開催することができ、相談者の困っていることや聞いて欲しいことを言葉や表情で理解することができ、職員の共通認識として支援に生かすことができた。また、相談者自身もゆっくりと話ができる時間の中で安心感と満足感を得ることができ、その後の安定した生活につなげることができた。

本人からの希望が5件、課題解決のための話し合い等2件、気分転換や機能訓練等のリフレッシュが5件であった。

年間12回実施（利用12名）

- [主な相談内容]
- ・施設での生活について
 - ・無くした物を一緒に探してほしい
 - ・他の利用者との関わりについて

2 余暇活動

①施設外活動

利用者との話し合いの中から行先や行程を計画した。職員からのイベントや施設の情報等の提供により、様々なイベントの体験を楽しむことができた。また、11月から3月は感染症対策のため、複合施設等の人混みを避けた場所での活動で感染予防に心掛けた。

年間10回実施

[主な行き先]

テラスウォーク一宮、山之上観光果樹園、一宮文化広場プラネタリウム等

②休日余暇活動

参加利用者の希望に沿って買い物や喫茶を行うことで、充実した休日を過ごすことができた。また、近隣の高齢者施設のイベントにも出かけ、他施設の方々との交流を深めた。

また、11月から3月までの感染症予防期間は施設内で楽しめる余暇活動(クリスマスツリー飾りつけ、カラオケ等)を行った。

年間8回実施

[主な行き先]

サンライフ地域感謝祭見学、アピタ江南西店、古今堂江南店

[施設内での取り組み]

クリスマスツリーの飾りつけ、DVD鑑賞、カラオケ

③喫茶外出活動

主に火曜日の午後に少人数のグループで利用者の希望する喫茶店や、ショッピングモールへ行き、憩いのひと時を楽しむことができた。また、天候の良い時は、テイクアウトの商品を購入し、公園での飲食を楽しむ機会にもすることができた。

1 1月～3月の感染症対策期間は複合施設等の人混みを避けた場所での活動で感染予防に心掛けた。

年間35回実施

[主な行き先]

コメダ珈琲江南村久野店、古今堂江南店、アピタ江南西店、江南フラワーパーク等

④地域清掃活動

毎回希望者を募り、道路等に落ちているゴミを拾う、ゴミ袋に入れる、リヤカーを押す等、仕事を分担しながら協力して施設周辺の清掃を行った。

活動後は「頑張ったね」や「きれいになったね」と声を掛け合いながら互いの労をねぎらった。地域社会へ貢献することで社会参加の機会となった。

年間5回実施

⑤誕生会・敬老会

司会者から誕生者の紹介を受け、楽しい雰囲気の中でふじの木園創立15周年を記念したフェイスタオルのプレゼントや、ケーキで皆でお祝いすることができた。

敬老会では60歳以上の方々に対し、長寿のお祝いをした。29年度に新たに敬老を迎えられた利用者には、ストレッチ器具がプレゼントされた。

年間12回実施（内9月は敬老会）

⑥季節行事

・これからもよろしくね会(平成29年4月14日)

4年ぶりにふじの木園での開催となった。園内で行うことで出席人数も多くなり会場の雰囲気も盛り上がった。

音楽療法の発表では利用者、保護者、職員を含めて全員で「WAになって踊ろう」でリズムに合わせて体を動かすことで一体感を共有できた。

園内で開催したことによって、食事の個別の対応や、集団が苦手な利用者へ別室を用意する等の対応がしやすかった。

・七夕祭り(平成29年7月7日)

始めに七夕の歌をみんなで歌い、その後、七夕の曲が流れる中で短冊に願い事を書き、一人一人の願いを発表した。その後、模造紙の笹へ短冊と折り紙の飾り物を貼り、七夕の雰囲気を楽しんだ。

- ・クリスマス会(平成29年12月25日)

今年度は12月10日の休日余暇活動で事前に利用者が飾り付けを行い、準備の時間も楽しく過ごすことができた。

当日は希望のプレゼントをもらうことができ、手にした際には利用者同士で見せ合うなどして楽しみを分け合った。

また、中期計画にある個々の個性を尊重した支援の一つであるファッションに関する取り組みとして、クリスマス会の中でファッションショーを行い、数名の利用者が普段着で着飾り、皆の前でウォーキングと、おしゃれなポイントの発表をして楽しむことができた。

- ・書初め大会(平成30年1月5日)

手本や、自分の書きたい言葉を選び、楽しく取り組み、同月のクラブ活動後に全体で発表会を行い、書いた字を選んだ理由や書く時に苦労した点について、充実した表情で全体に伝えることができた。その後は地域交流スペースに掲示したことで、家族や来園者にも見てもらうことができた。

- ・節分祭(平成30年2月2日)

新聞紙を丸めた豆でクラブ活動中に作った鬼の人形や職員が扮した鬼へめがけて豆まきを行った。「鬼のパンツ」の曲を使用することによって、より楽しい雰囲気で行い、季節を感じることができた。

- ・ひな祭り(平成30年3月2日)

ひなまつりの歌を皆で歌った後に、紙コップを使用したひな人形の工作を行った。顔や服の色等は各利用者に自由に描いてもらい、個性あふれるひな人形を完成させることができ、楽しい時間を過ごすことができた。

3 合同行事

①第37回ときわバザー(平成29年10月29日)

天候不順により会場規模は縮小となったが、利用者の参加しやすいバザーとなるよう職員配置や模擬店内容を見直したことで、多くの利用者が施設製品や葉ボタンの販売に携わり、職員や保護者と一緒にイベントに参加することができた。新たにゲームコーナーを設けたり、合同行事や各施設・事業所を紹介するポップをときわ会場に掲示したりすることで、地域の方にもたくさん参加していただき交流が深められ、ときわ会を知ってもらえる良い機会となった。

開催場所 ときわ作業所、ふじの木園(授乳スペース設置)、畑

②交流会(平成30年1月17日)

新成人を迎えたデイサービスあゆみの利用者を皆で祝福する成人の集いが行われた。祝賀会では「オブラディ・オブラダ」の合奏や食事を通して、法人内の利用者同士の交流を深めることができた。また、江南消防音楽隊の演奏時には、江南市のマスコットキャラクター「藤花ちゃん」も登場し、ステージの前で他施設・事業所の利用者と一緒に踊り、楽しい時間を過ごすことができた。

開催場所 すいとぴあ江南

4 その他

①水泳訓練 (平成29年8月3日)

ときわ作業所と連携し、職員が水に慣れること、水中歩行、クロールで泳ぐ等を順に指導して行った。例年に比べ、自由時間を少し長くとることで、自由に泳ぎ、暑い夏を楽しむことができた。

開催場所 木賀コミュニティープール

②心身障害者 (児) スポーツ大会(平成29年9月16日)

参加者全員が楽しく競技できるよう、事前に利用者に参加する競技を決めてもらった。玉入れなど参加予定者以外で競技への希望があった場合は、付き添う職員を増やすことで対応することができた。

前年度に続き、アトラクションで演舞団体“笑舞”による鳴子踊りが行われた。見るだけでなく、その場で踊り方を教えてもらい、演者と一緒に踊って楽しく参加することができた。

開催場所 江南市民体育会館

③人にやさしい作品展(平成29年11月3日～26日)

全体作品は、模造紙に手のひらアートで宇宙人を製作した。自由な発想で描くことで、個性的な作品が完成した。

個人作品は、休日や余暇時間を活用して10名ほどの利用者が取り組んだ。猫をフェルトを使って表現した手芸作品や、ハロウィンの貼り絵等の作品を出展することができ、展示スペースが華やかになった。

開催場所 すいとぴあ江南

④地域・福祉施設合同納涼大会(平成29年7月22日)

事前に盆踊りの練習を行うことで、当日までを楽しみに過ごした。当日は櫓を囲み、地域の方たちや高齢者施設の方たちと一緒に馴染みの曲に合わせて踊ることで、楽しい一時を過ごすことができた。また、一宮北高校の和太鼓部による演奏も披露され、さまざまな交流を図ることができた。

長時間の参加が難しい利用者は、参加する時間を短くして対応した。会場との往復

移動が慌ただしくなることもあったが、雰囲気を楽しむことができた。
開催場所 ジョイフルむつみグランド

⑤地域福祉施設合同大運動会(平成29年10月14日)

雨天のため中止。

平成29年度 ふじの木園行事等報告

月 日	行 事 等	月 日	他団体協力バザー
4. 14	これからもよろしくね会		
		4. 20	藤まつり
		～5. 7	(奇数日参加)
5. 20	県障害者スポーツ大会 (豊田市運動公園)		
		5. 28	こどもフェスティバル
6. 22	歯科健診		
7. 7	七夕まつり		
7. 22	地域・福祉施設合同納涼大会		
7. 25	あゆみエンジョイ Summer		
7. 26	健康診断 (移動検診車)		
8. 3	水泳訓練(木賀プール)		
9. 16	心身障害者 (児) スポーツ大会 (江南市民体育会館)		
		9. 28	古知野高校文化祭
10. 14	地域・福祉施設合同大運動会	10. 1	江南ふれあいまつり
10. 29	第37回ときわバザー		
11. 3	人にやさしい作品展 ～26		
11. 14	インフルエンザ予防接種①		
11. 21	インフルエンザ予防接種②		
11. 28	インフルエンザ予防接種③		
12. 9	愛知県ボッチャ競技大会 (稲永スポーツセンター)		
12. 25	クリスマス会		
1. 4	新年会		
1. 5	書初め大会		
1. 17	交流会 (すいとぴあ江南)		
2. 2	節分まつり		
2. 13	健康診断		
		2. 20	猫づくし展
		～ 25	
3. 1	ボッチャふじの木杯		
3. 2	ひなまつり		

その他		施設実習等	
誕生会(敬老会含)	年間 1 2 回実施	(介護実習)	
クラブ活動	年間 1 2 回実施	愛知県立古知野高校 8名	7月31日～ 8月 3日
保護者会	年間 1 2 回実施		8月21日～ 8月24日
避難訓練	年間 1 2 回実施	(社会福祉士実習)	
体重測定	年間 4 回実施	中部学院大学 3名	8月 7日～ 9月 8日
血圧測定	年間 4 回実施		
施設外活動	年間 1 0 回実施	(知的障がい者理解促進軽スポーツ教室)	
休日余暇活動	年間 8 回実施	江南市立北部中学校	5月30日
喫茶外出活動	年間 3 5 回実施		
音楽療法	年間 2 5 回実施	(職員研修)	
軽運動	年間 2 2 回実施	江南市新規採用職員研修	5月25日
機能訓練	年間 2 4 回実施		
生活相談	年間 1 2 回実施	(施設見学)	
		山尻あおぞら子ども会見学	7月20日

障害者支援施設（生活介護・施設入所支援）の状況

1 契約状況（市町村別）

平成30年3月31日現在

市町村名	性別		合計	入所前の状況			
	男	女		入所施設	通所施設	在宅	入院
江南市	14人	21人	35人	0人	26人	7人	2人
一宮市	3	0	3	0	1	2	0
岩倉市	1	0	1	1	0	0	0
小牧市	0	1	1	0	0	1	0
犬山市	1	0	1	0	0	1	0
名古屋市	0	1	1	1	0	0	0
北名古屋市	0	1	1	0	0	1	0
清須市	1	0	1	0	1	0	0
大口町	1	0	1	0	1	0	0
扶桑町	2	0	2	0	2	0	0
合計	23	24	47	2	31	12	2

2 障害支援区分別

平成30年3月31日現在

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男	0人	1人	1人	8人	1人	12人	23人
女	0	1	2	7	4	10	24
合計	0	2	3	15	5	22	47

3 年齢別

平成30年3月31日現在

性別	18歳未満	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計	平均年齢
男	0人	0人	0人	3人	13人	3人	4人	23人	48.4歳
女	0	0	1	6	9	5	3	24	47.0
合計	0	0	1	9	22	8	7	47	47.7

4 月別利用状況

(1) 生活介護（月～金曜日及び施設長が定めた日の9:00～17:00）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延べ人数	1,000人	1,039人	1,005人	1,030人	1,012人	999人
稼働日数	22日	23日	22日	23日	23日	22日
1日当たり 平均利用人数	45.5人	45.2人	45.7人	44.8人	44.0人	45.4人
契約人数	49人	49人	49人	49人	50人	50人
利用率	92.8%	92.2%	93.2%	91.4%	88.0%	90.8%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用延べ人数	1,011人	998人	1,035人	972人	901人	1,016人	12,018人	1,002人
稼働日数	23日	22日	23日	23日	20日	23日	269日	22.4日
1日当たり 平均利用人数	44.0人	45.4人	45.0人	42.3人	45.1人	44.2人		44.7人
契約人数	50人	49人	49人	49人	49人	47人	589人	49.1人
利用率	87.9%	92.6%	91.8%	86.2%	91.9%	94.0%		91.0%

利用率 定員50人に対し、1日平均利用人数44.7人 利用率91.0% 年間延べ12,018人が利用
年間稼働日数 269日

(2) 施設入所支援（夜間及び休日等）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延べ人数	1,221人	1,271人	1,276人	1,268人	1,245人	1,237人
稼働日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日
1日当たり 平均利用人数	40.7人	41.0人	42.5人	40.9人	40.2人	41.2人
契約人数	49人	49人	49人	49人	50人	50人
利用率	83.1%	83.7%	86.8%	83.5%	80.3%	82.5%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用延べ人数	1,253人	1,263人	1,263人	1,212人	1,148人	1,265人	14,922人	1,244人
稼働日数	31日	30日	31日	31日	28日	31日	365日	30.4日
1日当たり 平均利用人数	40.4人	42.1人	40.7人	39.1人	41.0人	40.8人		40.9人
契約人数	50人	49人	49人	49人	49人	47人	589人	49.1人
利用率	80.8%	85.9%	83.1%	79.8%	83.7%	86.8%		83.3%

利用率 定員50人に対し、1日平均利用人数40.9人 利用率83.3% 年間延べ14,922人が利用
年間稼働日数 365日

5 利用料収入の前年度比較

(1) 施設本体

	生活介護	施設入所支援	特定障害者特別給付費	特定費用等	合計
29年度	119,225,357円	55,930,297円	5,452,504円	20,291,206円	200,899,364円
28年度	119,282,221円	55,974,285円	5,872,050円	20,390,948円	201,519,504円
差引	-56,864円	-43,988円	-419,546円	-99,742円	-620,140円
前年比	100.0%	99.9%	92.9%	99.5%	99.7%

(2) 短期入所・日中一時支援

	短期入所	日中一時支援	合計
29年度	4,624,701円	1,710,739円	6,335,440円
28年度	4,346,101円	1,761,901円	6,108,002円
差引	278,600円	-51,162円	227,438円
前年比	106.4%	97.1%	103.7%

施設本体は昨年度より620,140円が減少し、率では0.3%の減収であった。

短期入所の利用率は増加し、日中一時支援の利用率は減少した。合わせた額で昨年度より227,438円、率では3.7%の増収であった。

6 日常生活動作能力別

平成30年3月31日現在

区分	性別		合計	
	男	女	男	女
	23人	24人	47人	
食事	全介助	4	2	6
	一部介助	7	8	15
	自立(見守り・声かけ)	13	13	26
排泄	全介助	6	4	10
	一部介助	8	8	16
	自立(見守り・声かけ)	10	11	21
着脱	全介助	7	3	10
	一部介助	3	4	7
	自立(見守り・声かけ)	14	16	30
洗面	全介助	10	9	19
	一部介助	6	6	12
	自立(見守り・声かけ)	8	8	16
入浴	全介助	9	8	17
	一部介助	12	6	18
	自立(見守り・声かけ)	3	9	12
歯磨き	全介助	11	8	19
	一部介助	12	5	17
	自立(見守り・声かけ)	1	10	11
生理	全介助	9	0	9
	一部介助	4	0	4
	自立(見守り・声かけ)	0	0	0
	終了	11	0	11

7 入院状況

平成29年4月1日～平成30年3月31日

性別	精神神経科	その他の科	合計	備考
男	1人	1人	2人	[その他の診療科の主な入院内容] 尿路感染症・肺炎、てんかん重積発作、全身状態悪化、 膣ポリープ切除、レスパイト(家族・施設)、 精神面不安定
女	1	3	4	
合計	2	4	6	

8 通院状況別

平成29年4月1日～平成30年3月31日

	内科	外科	整形外科	精神神経科	皮膚科	歯科	眼科	耳鼻科	脳外科	泌尿器	婦人科	合計
男	117人	1人	88人	55人	15人	62人	0人	6人	0人	0人		344人
女	236	1	62	43	55	210	17	5	0	0	15人	644
合計	353	2	150	98	70	272	17	11	0	0	15	988

(把握分)

9 服薬状況

平成30年3月31日現在

性別	要服薬者	非服薬者	合計
男	20人	3人	23人
女	20	4	24
合計	40	7	47

定期薬服薬者(座薬や頓服薬者除く)

10 服薬状況内訳

平成30年3月31日現在

性別	中枢神経系 用薬使用者	その他内服 薬使用者	合計
男	14人	6人	20人
女	14	6	20
合計	28	12	40

定期薬の種類別分類

11 栄養摂取状況別

平成29年度平均

	エネルギー	たんぱく質	脂質	カルシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC
	(Kcal)	(g)	(g)	(mg)	(mg)	(ug)	(mg)	(mg)	(mg)
平均	1,786	71.4	41.1	528	9.7	663	0.96	1.00	107
ふじの木 園基準量	1,800	66.0	40	660	11	700	1.20	1.10	100

※ 低カロリー食含

知的障害者(児)短期入所事業の状況 (契約者数85名の内、31名の利用 ・ 延べ利用日数583日)

1 契約状況(市町村別)

平成30年3月31日現在

市町村名	成人(18歳以上)		合計
	男	女	
江南市	41 人	17 人	58 人
一宮市	4	2	6
犬山市	0	1	1
小牧市	2	0	2
岩倉市	0	2	2
名古屋市	0	1	1
大口町	4	4	8
扶桑町	1	6	7
合計	52	33	85

2 障害支援区分

平成30年3月31日現在

区分	成人(18歳以上)		合計
	男	女	
区分1	0 人	0 人	0 人
区分2	2	2	4
区分3	15	9	24
区分4	26	9	35
区分5	3	12	15
区分6	6	1	7
合計	52	33	85

3 年齢別

平成30年3月31日現在

性別	成人						合計	平均年齢
	18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上		
男	0 人	11 人	24 人	10 人	5 人	2 人	52 人	37.1 歳
女	0	8	14	10	0	1	33	35.9
合計	0	19	38	20	5	3	85	36.5

日中一時支援事業の状況(契約者数82名の内、25名の利用・延べ利用日数315日)

1 契約状況(市町村別)

平成30年3月31日現在

市町村名	成人(18歳以上)		合計
	男	女	
江南市	40 人	19 人	59 人
一宮市	6	1	7
岩倉市	0	1	1
犬山市	0	1	1
扶桑町	1	7	8
大口町	3	3	6
合計	50	32	82

2 障害支援区分

平成30年3月31日現在

区分	成人(18歳以上)		合計
	男	女	
区分非該当	0 人	1 人	1 人
区分1	0 人	0 人	0 人
区分2	1	1	2
区分3	8	7	15
区分4	28	9	37
区分5	5	13	18
区分6	8	1	9
合計	50	32	82

3 年齢別

平成30年3月31日現在

性別	成人						合計	平均年齢
	18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上		
男	1 人	15 人	21 人	8 人	4 人	1 人	50 人	34.8 歳
女	1	8	13	10	0	0	32	35.8
合計	2	23	34	18	4	1	82	35.3

平成29年度 ふじの木園（相談事業） 事業報告書（案）

1 ふじの木園の運営

設置主体	社会福祉法人 ときわ会	
経営主体	社会福祉法人 ときわ会	
事業種別	特定相談支援事業	
事業所名	ふじの木園	
所在地	江南市河野町五十間88番地	
事業内容	(1) 計画相談支援 随時 (2) 基本相談支援 随時	
対象者	計画相談支援 障害福祉サービスを利用する者 基本相談支援 障害者及びその家族等	
職員数	常勤3名（正規3名）	計3名

職員 (単位：人)

	施設長	相談支援専門員	
		相談主幹	相談副主任
男	※ ₁ 1	1	
女			※ ₂ 1
合計	1	2	

※₁は障害者支援施設ふじの木園施設長を兼務

※₂は障害者支援施設ふじの木園支援副主任を兼務

2 事業総括

(1) 計画相談支援

障害福祉サービス支給決定後のモニタリングでの聴き取りや、担当者会議を通して、サービスの進捗状況の確認や課題を検討し、利用者や家族のニーズが反映されたサービス等利用計画の作成に繋げることができた。

家庭環境の変化や身体状況等の変化に合わせたサービス等利用計画の作成に努めた結果、在宅生活から入所施設への移行や短期入所事業の利用、通所施設の変更等適切なサービス利用に結び付けることができた。また、高齢の利用者に対しては、身体状況に合わせて介護保険への切り替えを行う等安定したサービス利用に結びつけ生活の質の向上に繋ることができた。

今年度は、介護保険施設への移行等に伴い、契約者は110名と、昨年と比較し3名減少し、報酬は347,623円、率では11.2%の減収であった。

(2) 基本相談支援

障害福祉サービスの利用に関すること、年金や行政等の手続きに関すること、補装具の申請に関すること等個々のケースに合わせて障害者やその家族からの相談に応じ、必要な情報提供に努めた。

3 中期計画の平成29年度の取り組みについて

(1) 利用者サービスの向上について

サービス等利用計画の質の向上

月1回定期開催している事業所内の職員会議の場で個々のケースの進捗状況の報告と事例検討を行うことで、サービス等利用計画の質の向上と相談支援専門員のスキル向上に繋がった。また、今年度は1名の相談支援専門員が、県が実施する相談支援従事者現任研修を受講し資質の向上を図った。

(2) 安定した運営と体制の整備について

事業と運営の安定

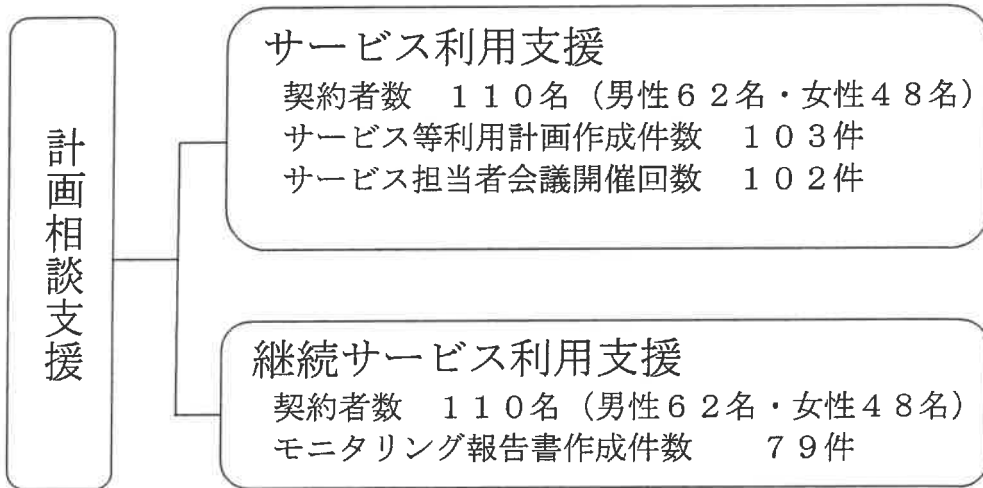
年金や行政等の手続きに関することや補装具の申請に関すること等、基本相談として対応する相談ケースも増え、多岐に渡ってきている中、必要に応じて基幹相談支援センターへの報告や相談を行い、協力を得ることで適切なサービス調整に応じることができた。また、業務マニュアルの見直しについては、毎日の特記事項を記載する業務日誌の入力についてもマニュアルを作成することで業務の効率化に繋げることができた。

(3) 関係機関との連携強化について

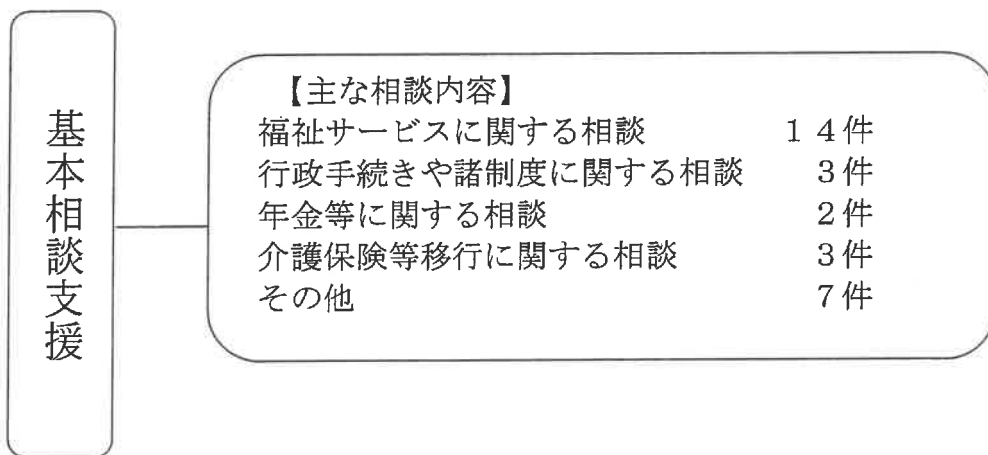
江南市総合支援協議会専門部会（相談支援部会）に出席し、地域課題等について取り組んだ。また、基幹相談支援センター主催の相談支援連絡会にも参加し、他の相談支援事業者等との情報共有等を図り連携強化に繋げることができた。

事業内容

1 計画相談支援



2 基本相談支援



計画相談支援

1 サービス利用支援

新規の利用契約者はなく、障害福祉サービスの支給量更新時に合わせてサービス等利用計画案の作成を主に行った。支給更新時は、遅滞のないサービス等利用計画の作成に努め、利用者とその家族への聴き取りを行い、情報の収集やニーズの把握に努め、適切なサービス利用に繋げることができた。また、サービス等利用計画の作成後はサービス担当者会議を開催し関係者間での情報共有や支援方法等について協議を図った。

2 継続サービス利用支援

定められた期間ごとにモニタリングを開催し、サービスの進捗状況や生活状況、ニーズの変化等を把握し適切なサービス利用へと繋げることができた。また、モニタリングの期間外でも生活環境の変化やニーズの変化等が見られた際には必要に応じてモニタリングを行い、サービス事業所との調整や変更等により利用者とその家族の安心安全な生活に繋げることができた。

基本相談支援

障害者やその家族からの福祉や日常生活等の相談に対して、必要に応じて障害福祉サービス事業所や行政・医療機関等の専門機関の情報提供等を行った。

【主な相談内容】

障害福祉サービス利用等における事業所の情報提供、車椅子の補助申請等日常生活用具費の申請、障害基礎年金の申請、介護保険への切り替え等に関する相談等

会議研修等出席状況

(会議関連)			(研修関連)		
管理会議	年間	12回	施設内研修	年間	2回
職員会議	年間	12回	外部研修	年間	1回
サービス担当者会議	年間	102件			
(部会関連)					
江南市相談支援部会	年間	4回			
江南市相談支援連絡会	年間	3回			

特定相談支援事業の状況

1 契約状況（市町村別・障害別）

平成30年3月31日現在

市町村名	性別		合計	障害			
	男	女		知的	身体	精神	難病
江南市	53人	43人	96人	96人	10人	2人	0人
一宮市	3	2	5	5	2	0	0
岩倉市	1	0	1	1	1	0	0
小牧市	0	1	1	1	0	0	0
犬山市	1	0	1	1	0	0	0
名古屋市	0	1	1	1	0	0	0
清須市	1	0	1	1	0	0	0
北名古屋市	0	1	1	1	0	0	0
大口町	1	0	1	1	0	0	0
扶桑町	2	0	2	2	0	0	0
合計	62	48	110	110	13	2	0

2 障害支援区分別

平成30年3月31日現在

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男	0人	3人	5人	24人	10人	20人	62人
女	0	1	10	13	14	10	48
合計	0	4	15	37	24	30	110

3 年齢別

平成30年3月31日現在

性別	18歳未満	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上	合計	平均年齢
男	0人	0人	4人	25人	22人	6人	3人	2人	62人	41.8歳
女	0	0	8	12	17	7	0	4	48	42.5
合計	0	0	12	37	39	13	3	6	110	42.1

4 月別支援状況

(1) 開所日

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
開所日数	20日	20日	22日	20日	19日	20日

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
開所日数	20日	20日	20日	19日	19日	21日	240日	20日

(2) サービス等利用計画書の作成

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
サービス等利用計画作成件数	7件	7件	9件	5件	9件	10件

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
サービス等利用計画作成件数	7件	7件	9件	13件	13件	7件	103件	8.6件

(3) モニタリング報告書の作成

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
モニタリング報告書作成件数	3件	6件	6件	9件	7件	6件

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
モニタリング報告書作成件数	6件	6件	4件	10件	10件	6件	79件	6.6件

5 利用料収入の前年度比較

	金額
28年度	3,090,186円
29年度	2,742,563円
差引	-347,623円
前年比	88.8%

契約者の減少に伴い、サービス等利用計画とモニタリング報告書の作成件数も減少し昨年度より347,623円、率では11.2%の減収であった。

6 障害福祉サービス利用状況

障害福祉サービス		性別		合計
		男	女	
通所・在宅系サービス	生活介護	30人	19人	49人
	短期入所	35	17	52
	短期入所（療養型）	1	0	1
	居宅介護	2	1	3
	地域活動支援センター	6	5	11
	移動支援	4	3	7
	日中一時	33	17	50
サービス系	共同生活援助	0	6	6
	施設入所支援	25	23	48
合計		136	91	227

※重複利用があるため、契約者数とは一致しません。

平成 29 年度 ときわ作業所 事業報告書(案)

1 ときわ作業所の運営

設置主体 社会福祉法人 ときわ会
 経営主体 社会福祉法人 ときわ会
 事業種別 障害福祉サービス事業
 地域生活支援事業
 事業所名 ときわ作業所
 所在地 江南市後飛保町高瀬 69 番地
 事業内容と定員 (1) 生活介護 55 名 (現員 51 名)
 (2) 日中一時支援 5 名 (随時)
 対象者 障害支援区分 3 以上 (50 歳以上は区分 2 以上) である者
 職員等 [職員] ・常勤 14 名 (正規 8 名・契約 6 名) ・非常勤 10 名
 計 24 名
 [他] ・嘱託医 (精神科) 1 名
 ・講師 (音楽療法・軽運動) 3 名 計 4 名

職員 (単位: 人)

	施設長	支援主幹 (サービス管理責任者)	事務員	支援員	
				副主任	支援員
男	※ ₁ 1	1		※ ₂ 1	※ ₂ 3 ※ ₃ (4)
女			1		※ ₂ 7 (5)
合計	1	1	1	11 (9)	

	看護師	合計
男		6 (4)
女	※ ₄ (1)	8 (6)
合計	(1)	14 (10)

() 内は非常勤職員数、別掲

※₁は、小規模授産施設施設長及びときわホーム施設長を兼務

※₂は、内 1 名はときわホーム支援主任 (サービス管理責任者) を兼務、5 名は生活支援員を兼務

※₃は、内 2 名はあゆみ運転手を兼務

※₄は、あゆみ看護師を兼務

2 事業総括

(1) 生活介護

日中における生産活動の機会の提供及び食事や排せつ等の日常生活上の介護の他、創作的活動の機会を提供することにより、生活能力の向上に向け必要な支援を行った。

生産活動のガーゼハンカチについては、業者の生産計画が変更となり、作業としての定着には繋がらなかったが、印刷やしぼり製品は、種類を増やし個々の適性に合わせた工程に取り組むことでやりがいや責任感を養うことができた。

創作的活動では、利用者が自発的に参加し役割を持って活動できるよう、「軽運動」の拡充や事業所内の運動会である「なかよし会」を実施した。余暇活動の社会見学では、遊覧船に乗る機会を設けることができ、景色と会話を楽しみながらマナーも身に付けられた。

健康支援は、利用者の体調把握に注視しつつ、看護師による健康チェック等を行うなど、快適に過ごせるよう努めた。

給食支援は、委託業者と連携し利用者が選択できる献立を取り入れることで、利用者の嗜好に合わせた提供ができた。衛生面についても、食中毒防止や調理業務の衛生管理に努めることで清潔感のある厨房、食堂を保つことができた。

ときわホームのバックアップは、職員間で連携を図りながら、利用者の体調面及び精神面の把握に努めた。

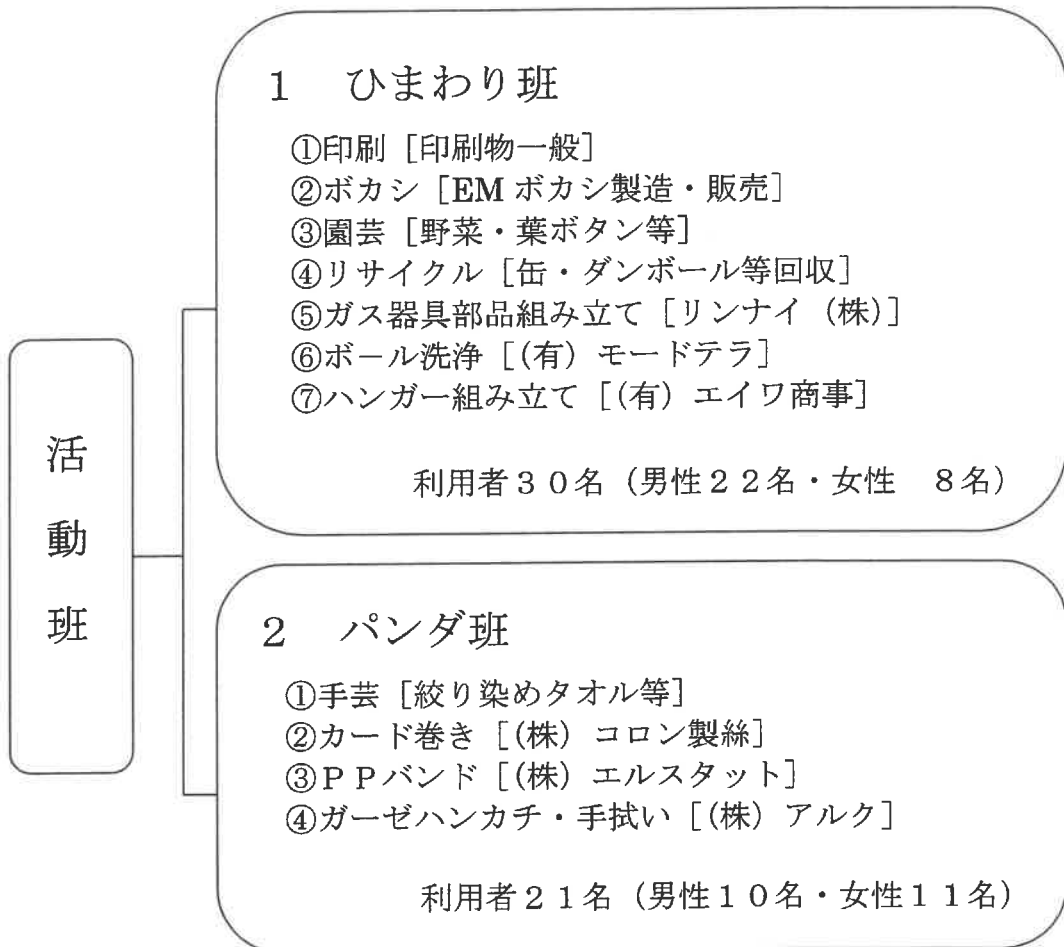
事業所の稼働日数は254日、平均利用人数は45.8人で利用率は89.3%であった。他事業所への移行に伴う退所者が年度途中に1名あり、事業所の利用料収入は、額で昨年度より、2,326,845円、率では2.4%の減収となった。

(2) 日中一時支援

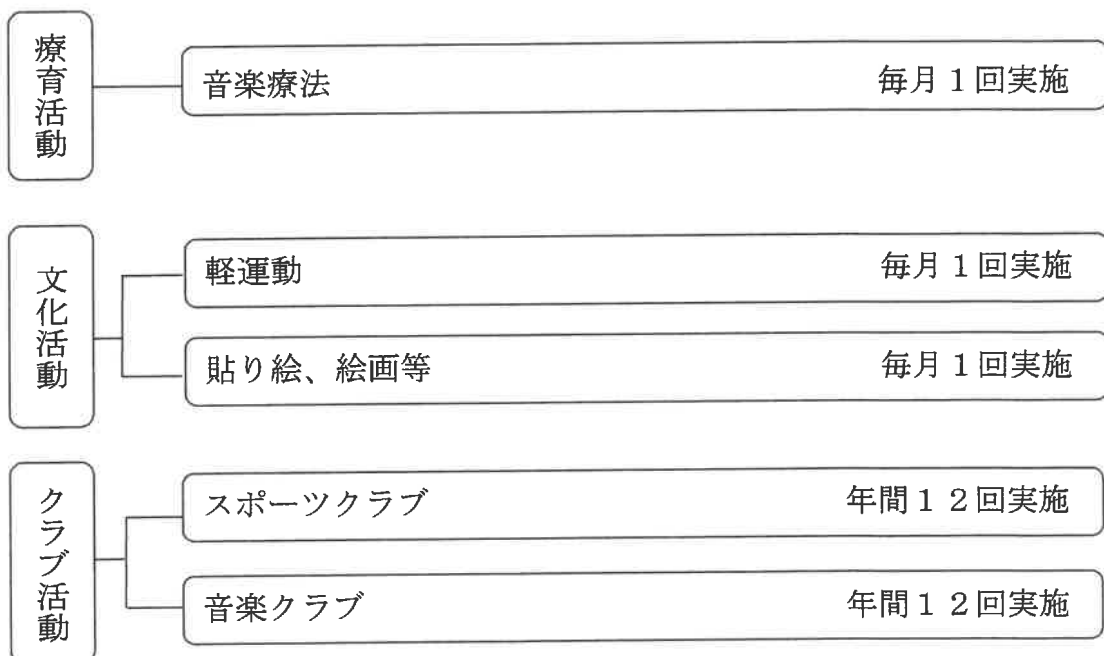
一宮東特別支援学校の生徒を夏休み期間の事業所利用として、7月から8月に受け入れをした。日中一時支援の利用希望者の増加に伴い、受け入れ日数が増加し、利用料収入は、額で昨年度より13,958円、率では25.2%の増収となった。

事業内容

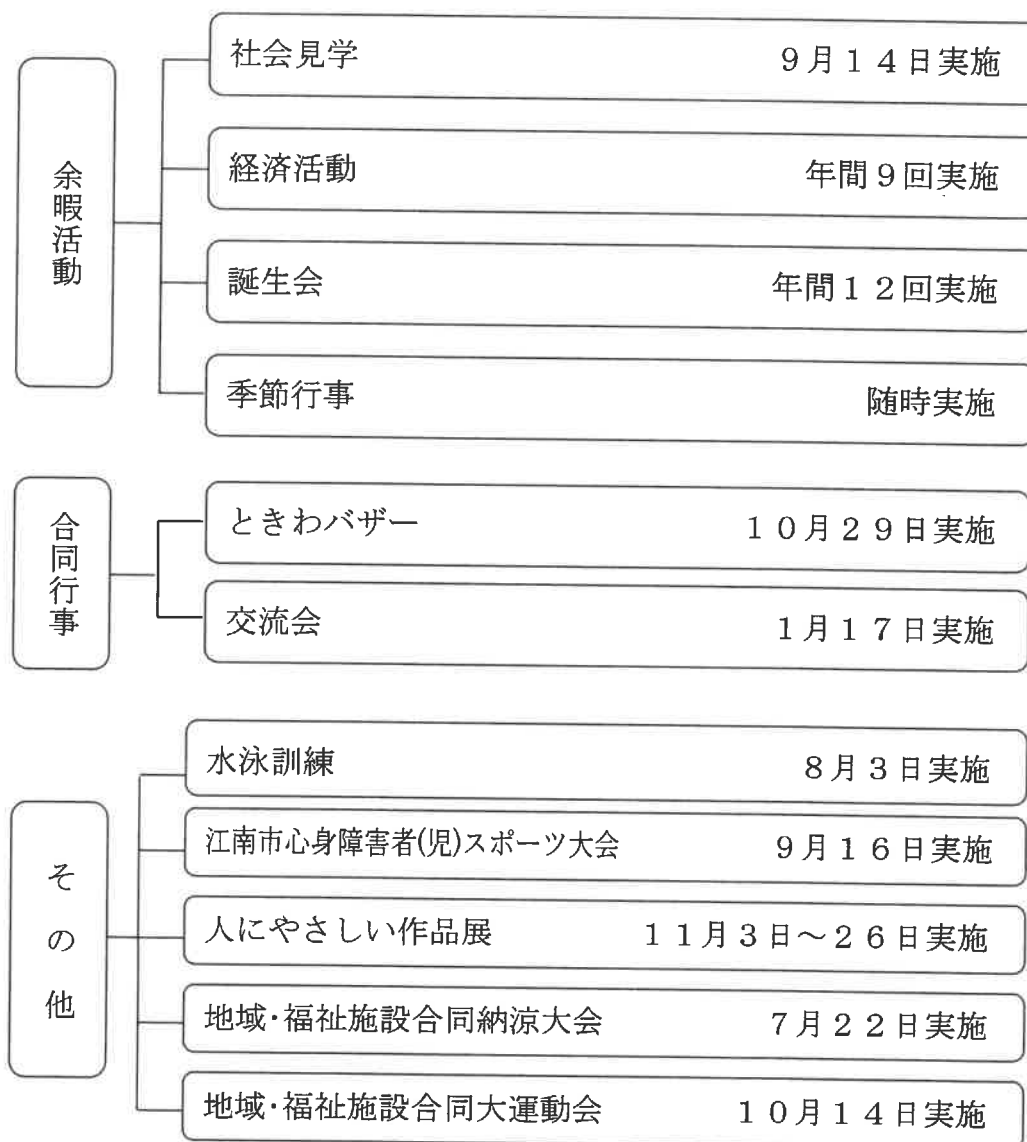
1 生産活動



2 創作的活動 (ときわ・小規模共通)



3 その他の活動 (ときわ・小規模共通)



4 健康支援

健康調査表、健康診断の結果、日常の健康観察を行うことで、適切に健康面の把握をすることができた。また、歯科衛生士による「健康教育」、「歯磨き指導」を継続して行ったことにより、歯磨き習慣が付いてきており、歯と歯肉、口腔内の健康の保持増進に繋げることができた。

5 給食支援

委託業者と連携を図り、身体状況に応じた刻み食の提供や残食量の把握、選択できる献立を取り入れることで、利用者の嗜好に合わせた給食提供ができた。

衛生面では、厨房床の塗装工事を行い、食中毒防止や調理業務の衛生管理に努めることで清潔感のある厨房、食堂を保つことができた。

6 ときわホームのバックアップ

ときわホームの利用者の状況については、朝礼や終礼を通して情報の共有を図り、利用者の体調面及び精神面の把握に努めたことで、日中の利用者支援の向上にも繋げることができた。

7 中期計画の平成29年度の取り組みについて

(1) 利用者サービスの向上について

ア 班活動、日課の見直し

生産活動については、ガーゼハンカチ作業を取り入れ、その定着を目指したが、業者の生産計画が変更となったため、現状の作業の中で利用者個々にあった作業提供ができるように検討を進めた。

創作的活動については、新たに1名の外部講師を招き、利用者の障害の重度化、高齢化に対応したポッチャを中心とした軽運動を取り入れたことで、創作的活動の幅を広げることができた。

イ 工賃の見直し

収支バランスの改善が図られてきたことで、30年度も減算支給の割合を変更することなく29年度の水準に合わせた工賃の支給ができるようになった。

また、客観性のある自主性、生産性を考慮した分かりやすい工賃基準を確立しなければならないことが確認できた。

ウ 送迎サービスの見直し

保護者の利用者送迎困難時や電車等の公共交通機関及び有償送迎で通所している利用者に対して、送迎サービスを実施した。このサービスは、利用者の通所意欲の向上や保護者の送迎負担の軽減に繋がっているが、対象者の中には、利用できていない方がみえるため、通所に対する意識付けができるよう送迎利用の促しを継続して行った。障害の重度化、高齢化にも対応し、事業所の利用が毎日できる送迎サービスの在り方を検討する必要が確認できた。

保護者の入院や怪我等の理由で送迎が困難になった際の対応として「保護者送迎困難時の留意事項」により、7月から8月にかけて1名、2月に1名、それぞれ送迎サービスを実施した。

(2) 設備等ハード面の充実について

ア 事業所の整備

2階和室に更衣スペースを設けたり、フロアに利用者ロッカーを設置したりすることで、今まで以上に目の行き届いた支援が提供できるようになった。また、来客用トイレの改修等を実施し環境改善に繋げることができた。

生産活動報告

1 ひまわり班

①印刷 [印刷物一般]

名刺印刷は、江南市の指定台紙すべての種類に対応し、お客様のニーズに応えることができた。オフセット印刷については、昨年度と同等の注文を受けることができた。

印刷した名刺に市章プレスを押す作業や納品業務は利用者が携わり、製品に仕上がっていく過程を知ることができ、喜びを感じてもらおうとともに仕事に対する責任感も養うことができた。

②ボカシ [EMボカシ製造、販売]

多くの利用者が製品になるまでの工程に携われるよう、工程毎に分担し取り組むことで責任感を養うことができた。販売店への納品業務は毎週2回行い、売上数や商品の状態を把握することで、品質を一定に保つことができた。納品先の職員や地域の方々にも顔を覚えていただき、励ましの言葉を掛けられることで、利用者の意欲向上に繋げることができた。

③園芸 [野菜・葉ボタン等]

利用者の保護者への野菜販売は、大変好評であった。畑の水やりや草取りの手入れは、利用者も携わることで、野菜の育ち具合も確認することができ、収穫量も少しではあるが増加に繋がった。いも掘りについては、皆で協力して育ててきたという充実感溢れる笑顔が多くみられ協調性、責任感を養うことができた。

④リサイクル [アルミ缶・新聞・ダンボール等回収等]

ダンボール等の回収業務は、事業所内で整理整頓し、こまめに納品をすることで急な回収依頼にも対応することができた。他の作業の流れも考慮しながら、できるだけ多くの利用者が回収業務に参加できるように1週間ごとにスケジュールを立て取り組んだ。また、アルミ缶分別の作業やダンボールの積み下ろし作業については、利用者が重い物を一緒に運ぶ姿もみられ、協力して作業を進めていくことができた。

⑤ガス器具部品組立 [リンナイ(株)]

納入カードを色分けする等、利用者が分かりやすいよう工夫をすることで多くの利用者が携われる作業となった。資材の組み付けや納品以外にも、納品箱の清掃や納入カードの準備、トラックの積み下ろし作業などの工程が定着したことで自信にも繋がった。また、かんぱん(資材)管理表を基に業者との資材の確認を綿密にしたことにより、納期に遅れることなく対応することができた。

⑥ボール洗浄 [(有)モードテラ]

ボール洗浄には、障害の程度に関わらず、多くの利用者に携わってもらえるよう努めた。また、作業工程を丁寧に説明することで、少しずつ自信を持って取り組めるようになった。利用者が自信を持つことで、不良品の選別についても自ら判断することができた。納品業務に携わる利用者も増え、社会との繋がりを持つことができた。

⑦ハンガー組み立て [(有)エイワ商事]

工程毎に分かりやすく利用者に説明しながら役割分担をしたことで、一人一人が作業の大切さを自覚し、資材の不良を見分けられるようになり、質の高い製品作りができた。利用者の特性に合わせた組み付け、バネ付け、型はめ、シール貼りの工程に加え、新たにバリ取りの工程を取り入れたことで、より多くの利用者が携われる作業となった。

2 パンダ班

①手芸 [絞り染めハンカチ等]

絞り染め製品については、利用者が染料の色を話し合い自分たちで決めたことで、仕上がりの模様を楽しみにし、やりがいを持って取り組むことができた。ロビー販売や各種バザー販売の際には、「きれいだね、頑張ってるね」と声を掛けてもらうこともあり、製品作りの喜びに繋げることができた。

フェルト製品では、季節に合わせた商品に力を入れたことで、その時期のリースや小物製品などが販売先でも好評で、地域との交流にも繋げることができた。

②カード巻き [(株)コロン製絲]

カードの巻き方を定期的に確認することで、カードを機械にまっすぐ差し込むことを意識し、作業への意識も高めることができた。巻き方が安定せず糸が歪んでしまう際には、業者との連携を図り、機械の点検や扱い方の再確認をすることで、利用者が安心して取り組み不良糸の減少にも繋がった。また、カード巻き作業を半日交代とすることで、以前より多くの利用者が作業に取り組めるようになった。

カード巻き後のブラシ掛けの工程についても、糸の汚れを確認しながら協力して取り組むことができた。

③PPバンド [(株)エルスタット]

利用者の特性に合わせた作業工程となるよう業者とも確認し、各工程を説明しながら作業を進めていくことで、それぞれの役割を把握し正確に取り組めるようになった。多くの利用者が携われる作業となり、協力して取り組む中で協調性や責任感を養うことができた。

④ガーゼハンカチ・手拭い [(株) アルク]

多くの利用者が携われる作業として新たに取り入れた。業者側の生産計画の変更もあり、作業の定着には繋がらなかったが連携を図ることはできた。

創作的活動報告 (ときわ・小規模共通)

1 療育活動

音楽療法

音楽療法は、毎月外部講師を招いて行い、利用者が歌う楽しさや楽器の音色、音を体で表現することなど音楽には色々な楽しみ方があることを感じ取ることができた。また、利用者が、新たに楽器卓上ペルを使用して他の利用者の中で発表をすることで自信を持ったことに加え、音楽療法を楽しみにする利用者も増え情緒の安定にも繋がった。

年間12回実施

2 文化活動

①軽運動

障害の重度化、高齢化や運動不足に対応することを目的に外部講師を招き、毎月1回活動をした。ボッチャを中心に行うグループを新たにつくすることで、体を動かす意識を高めるとともに、体力の維持・向上にも繋げることができた。

軽運動を通して利用者の事業所生活にメリハリが付き、笑顔も増え余暇の過ごし方や興味の幅を広げることに繋がった。

年間12回実施

- ・ストレッチ (6回)
- ・ボッチャ (6回)

②貼り絵、絵画等

季節に合わせた作品や作品展に向けて合同作品を活動班ごとに協力して作ることにより、仲間と一緒に作り上げる喜びや達成感に繋げることができた。

3 クラブ活動

①スポーツクラブ

近隣公園までマイクロバスに乗って出かけ、皆でウォーキングをすることで、団体行動や集団でのルールを身に付けることができた。フライングディスク、キックカーリング、ボッチャ等の活動に加え、江南市民体育会館では、玉入れ、リレー等のスポーツ大会を行うことで体力の維持・向上の他、生産活動への活力にも繋がった。また、季節

に応じた工作・運動や天候に応じてDVD鑑賞も取り入れ、総合的な活動をする事ができた。

年間12回実施

②音楽クラブ

利用者の希望を取り入れ、1年間の計画を立てて実施した。クリスマス会の発表に向けて自分達で楽器を作成、練習をした。発表時は緊張した姿も見られたが、しっかりと皆の前で音色を響かせることができた。年間を通して体操(ケロポンズ)を取り入れ、音楽のリズムに合わせて楽しみながら体を動かすことができた。

外部講師を招いてオカリナの演奏を聴く機会や季節に合わせたカルタ等を取り入れることで活動の幅も広げることができた。

年間12回実施

その他の活動報告 (ときわ・小規模共通)

1 余暇活動

①社会見学

恵那峡では遊覧船に乗り、他の利用者と景色を楽しみながらコミュニケーションを図ることで会話も弾み笑顔溢れる遊覧となった。多治見モザイクミュージアムでは、タイルアートを観て楽しむだけでなく、触って楽しむこともできた。1日を通し、楽しみながら教養を高め、集団行動の中でのマナーも身に付ける機会となった。

実施日 平成29年9月14日

恵那峡遊覧船、多治見モザイクミュージアム

②経済活動

日頃の生産活動を離れ、内藤記念博物館や電車を利用し犬山の城下町散策へ出掛けたり、フラワーアレンジメントを体験したりすることで、仲間とともに地域との交流を図ることができた。利用者が中心となり、行き先や昼食内容を予算内で計画したことで、金銭の価値を学ぶ体験となり、充実感も得ることができた。

年間9回実施

③誕生会

利用者中心で誕生会を実施し、仲間から祝福される喜びを感じるとともに、仲間を祝福する気持ちも育むことができた。

年間12回実施

④季節行事

スポーツ大会など各種行事を通して季節の移り変わりを肌で感じ取り、地域の中で社会生活を送っていることの喜びを感じることができた。

事業所内の主な季節行事

なかよし会（11月）

事業所内の運動会として玉入れやビーチボールサッカー、リレーに加え、今年度取り入れた台風の目に参加し楽しく交流を図ることができた。また、競技や応援を通して集団生活での協調性やマナーを身に付けることができた。

クリスマス会（12月）

音楽クラブの発表やサメ釣りで貰ったプレゼント、サンタからお菓子を手渡され、たくさんの笑顔で楽しい時間を過ごすことができた。

2 合同行事

①第37回ときわバザー(平成29年10月29日)

天候不順により会場規模は縮小となったが、利用者の参加しやすいバザーとなるよう職員配置や模擬店内容を見直したことで、多くの利用者が施設製品や葉ボタンの販売に携わり、職員や保護者と一緒にイベントに参加することができた。新たにゲームコーナーを設けたり、合同行事や各施設・事業所を紹介するポップをときわ会場に掲示したりすることで、地域の方にもたくさん参加していただき交流が深められ、ときわ会を知ってもらえる良い機会となった。

開催場所 ときわ作業所、ふじの木園（授乳スペース設置）、畑

②交流会(平成30年1月17日)

新成人を迎えたデイサービスあゆみの利用者を皆で祝福する成人の集いが行われた。祝賀会では「よさこい南中ソーラン」の踊りや食事を通して、法人内の利用者同士の交流を深めることができた。また、江南消防音楽隊の演奏時には、江南市のマスコットキャラクター「藤花ちゃん」も登場し、ステージの前で他施設・事業所の利用者と一緒に踊り、楽しい時間を過ごすことができた。

開催場所 すいとびあ江南

3 その他

①水泳訓練(平成29年8月3日)

仲間と一緒に泳ぎ方や水中歩行等の練習をしたり、自由に水に親しむ時間を設けたりすることで交流が深まり、身体を動かす楽しさを感じることができた。

開催場所 木賀コミュニティープール

②江南市心身障害者・児スポーツ大会(平成29年9月16日)

スポーツ大会では、さまざまな障害を持った人たちとともに各種競技に参加しながら気持ちの良い汗を流し、交流を深めることができた。また、近隣施設の方々との交流も深めることができた。

開催場所 江南市民体育会館

③人にやさしい作品展(平成29年11月3日～26日)

仲間と一緒に作品づくりを協力して行う中で、自分の役割をしっかりと担い、やり遂げることで達成感を得ることができた。また、多くの方に作品を見ていただくこともでき、作品づくりの楽しさや喜びを感じることができた。

開催場所 すいとびあ江南

④地域・福祉施設合同納涼大会(平成29年7月22日)

事前に講師の方を招いて盆踊りの練習したことで、当日の本番では、多くの利用者が楽しく踊りに参加することができた。夕方からの行事であったが、日頃接する機会が少ない老人施設や地域の方々との交流を深めるとともに、夜店の雰囲気を楽しむことができた。

開催場所 ジョイフルむつみグラウンド

⑤地域・福祉施設合同大運動会(平成29年10月14日)

天候不順の為中止。

平成29年度 ときわ作業所行事等報告

月 日	行 事 等		月 日	他団体協力バザー
5. 8	曼陀羅寺招待		4. 20	藤まつり
5. 20	県障害者スポーツ大会 (豊田市運動公園)	県社会福祉協議会	～5. 7	(偶数日参加)
7. 6	健康診断 (移動検診車)	名古屋公衆医学研究所	5. 28	こどもフェスティバル
7. 22	地域・福祉施設合同納涼大会	地域・施設合同委員会	6. 4	きそがわほのぼのまつり
7. 25	あゆみエンジョイSummer			
8. 3	水泳訓練 (木賀プール)	障害者 (児) 連絡協議会		
8. 24	歯科検診	尾北歯科医師会		
9. 14	社会見学 (恵那峡・多治見)			
9. 16	心身障害者 (児) スポーツ大会 (江南市民体育会館)	障害者 (児) 連絡協議会		
10. 6	いも掘り		9. 28	古知野高校文化祭
			10. 1	ふくし江南ふれあいまつり
			10. 7	江南市民まつり
			～ 8	
10. 29	第37回ときわバザー	ときわ作業所・小規模 ふじの木園・あゆみ合同		
11. 3	人にやさしい作品展			
～26	(すいとぴあ江南)		11. 11	収穫祭
11. 8	なかよし会 (江南市民体育会館)		～12	
			11. 26	コスモスまつり
12. 22	クリスマス会			
1. 17	交流会 (すいとぴあ江南)	ときわ作業所・小規模 ふじの木園・あゆみ合同		
2. 20	健康診断	藤原医師	2. 20	猫づくし展
			～25	
			3. 11	たけのこまつり いずみまつり
その他			事業所実習	
身体測定	12回実施		愛知教育大学	12名 (8月～12月)
誕生会	12回実施		尾北看護専門学校	11名 (1月～3月)
クラブ活動	12回実施			
経済活動	9回実施			
避難訓練	2回実施			
保護者会	12回実施			
医療相談	12回実施			

利用者の状況

1 市町村別

平成30年3月31日現在

出身地	性別		合計	入所前の状況		
	男	女		在宅	他施設	学校
江南市	30人	17人	47人	9人	15人	23人
一宮市	2	2	4	0	0	4
扶桑町	0	0	0	0	0	0
合計	32	19	51	9	15	27

2 障害支援区分別

平成30年3月31日現在

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男	0人	2人	0人	17人	7人	6人	32人
女	0	0	6	4	9	0	19
合計	0	2	6	21	16	6	51

3 年齢別

平成30年3月31日現在

年齢	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計	平均年齢
男	1人	4人	16人	7人	3人	1人	32人	37.6歳
女	0	7	1	8	2	1	19	39.3
合計	1	11	17	15	5	2	51	38.2

4 月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延べ人数	999人	1,040人	1,064人	984人	917人	996人
稼働日数	21日	22日	22日	21日	20日	22日
1日当たり 平均利用人数	47.6人	47.3人	48.4人	46.9人	45.9人	45.3人
契約人数	52人	52人	52人	51人	51人	51人
利用率	91.5%	90.9%	93.0%	91.9%	89.9%	88.8%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用延べ人数	968人	959人	993人	847人	847人	1,008人	11,622人	968.5人
稼働日数	22日	21日	22日	19日	20日	22日	254日	21.2日
1日当たり 平均利用人数	44.0人	45.7人	45.1人	44.6人	42.4人	45.8人		45.8人
契約人数	51人	51人	51人	51人	51人	51人	615人	51.3人
利用率	86.3%	89.5%	88.5%	87.4%	83.0%	89.8%		89.3%

利用率 定員55人のところ契約人員51人 平均利用人数45.8人 利用率89.3%

年間述べ11,622人が利用

年間稼働日数 254日

5 利用料収入の前年度比較

(1) 事業所本体

	生活介護	特定費用等	金額
29年度	89,843,818円	3,786,539円	93,630,357円
28年度	92,059,960円	3,897,242円	95,957,202円
差引	-2,216,142円	-110,703円	-2,326,845円
前年比	97.6%	97.2%	97.6%

利用料収入は、年度途中に1名の退所があり、2,326,845円の減収となった。

(2) 日中一時支援

	金額
29年度	69,356円
28年度	55,398円
差引	13,958円
前年比	125.2%

6 生産活動収入の状況

(1) 生産活動全体

	金 額
29年度	5,791,055 円
28年度	5,946,800 円
差引	-155,745 円
前年比	97.4%

前年度に比較して、額で155,745円、率で2.6%の減収であった。

(2) 内訳

① 自主作業収入

	金 額
29年度	2,074,917 円
28年度	2,106,169 円
差引	-31,252 円
前年比	98.5%

② 下請作業収入

	金 額
29年度	3,716,138 円
28年度	3,840,631 円
差引	-124,493 円
前年比	96.8%

自主作業収入は、前年度に比較して31,252円の減収であった

下請作業収入は、前年度に比較して124,493円の減収であった。

7 日常生活動作能力別

区 別	性 別	男	女	合 計
		32人	19人	51人
食 事	全 介 助	0	0	0
	一 部 介 助	14	13	27
	自立(見守り・声掛け)	18	6	24
排 泄	全 介 助	0	0	0
	一 部 介 助	21	11	32
	自立(見守り・声掛け)	11	8	19
生 理	全 介 助	—	0	0
	一 部 介 助	—	13	13
	自立(見守り・声掛け)	—	6	6

日中一時支援事業の状況(年間6名・延べ利用日数14日)

1 契約状況(江南市)

平成30年3月31日現在

市町村名	児童(18歳未満)		成人(18歳以上)		合計
	男	女	男	女	
江南市	3人	3人	0人	0人	6人

2 障害支援区分

平成30年3月31日現在

区分	児童(18歳未満)		成人(18歳以上)		合計
	男	女	男	女	
区分1・非該当	1人	2人	0人	0人	3人
区分2	1	0	0	0	1
区分3	1	1	0	0	2
区分4	0	0	0	0	0
区分5	0	0	0	0	0
区分6	0	0	0	0	0
合計	3	3	0	0	6

3 年齢別

平成30年3月31日現在

性別	児童		成人		合計	平均年齢
	12~15歳	16~18歳	18~19歳	20~29歳		
男	2人	1人	0人	0人	3人	14.3歳
女	3	0	0	0	3	13.3
合計	5	1	0	0	6	13.8

平成29年度 ときわホーム 事業報告書(案)

1 ときわホームの運営

設置主体	社会福祉法人 ときわ会	
経営主体	社会福祉法人 ときわ会	
事業種別	障害福祉サービス事業	
事業所名	ときわホーム「ニコット」	
所在地	江南市河野町五十間115番地	
事業内容と定員	共同生活援助(介護サービス包括型)事業	6名(現員 6名)
職員数	常勤7名(正規6名・契約1名)・非常勤5名	計12名

職員

(単位：人)

	施設長	支援主任 (サービス管理責任者)	世話人	生活支援員	合計
男	※ ₁ 1	※ ₂ 1	0	※ ₃ 3	5
女	0	0	(5)	※ ₃ 2	2 (5)
合計	1	1	(5)	5	7 (5)

() 内は非常勤職員数、別掲

※₁は、ときわ作業所施設長及び小規模授産施設施設長を兼務

※₂は、ときわ作業所生活支援員を兼務

※₃は、ときわ作業所生活支援員を兼務

2 事業総括

利用者がホームで楽しく、充実した共同生活を送るために入浴、排せつ及び食事等の援助や相談、調理、洗濯、掃除等の日常生活上の支援を行った。

利用者が日常の共同生活を送る上での決まりや協力事項を守るなど、また分担して行う役割が円滑にできるよう、個別の対応も取りながら、安定した6人の輪作りに向けて支援した。小さな一言から情緒が安定しないことがあったが、自分の気持ちや仕草を振り返り、良好な共同生活が送れるように支援した。

利用者の中には、週末帰省が減少し、不安を感じる様子が見られたため、定期的に外出したり、外泊予定を調整したり、また、ホームでの家事の幅が広がるような支援をし、安定した生活が送れるように努めた。

ホームの一日の平均利用人数は5.0人で利用率は83.0%であった。利用料収入は、休日利用が増えたことによる増収もあり、前年度に比べて額で364,398円、率では3.5%の増収であった。

事業内容

1 事業支援

利用者の環境、年齢及び心身の状況に応じた個別支援や余暇活動等を行い、グループホームでの生活の充実と地域への積極的な参加を図った。

食事は、日々の身体状況や身体測定での体重の増減の推移も見ながら、健康状態に応じた提供をした。また、日中活動の事業所の給食に配慮し、同じ様な献立にならないよう柔軟に対応した。特に夕食は、季節感のあるメニューを取り入れたり、誕生者のリクエストメニューを加えたりと楽しみの持てる食事を提供した。

グループホームで良好な関係を築きながら、役割を持って自立した生活を送り、責任を持つことができるように努めた。また、日中活動の事業所で飲み物を購入するために、ジュース用小遣いの導入をすることで、金銭の自己管理に向けた取り組みを行った。

[主な取り組み]

- ・誕生者リクエストメニュー その都度（誕生者が希望した一品）
- ・ジュース用の小遣いの導入（毎月400円）

2 健康支援

利用者の健康管理は、日中活動の事業所の看護師とも情報交換を図り、体温や血圧などのバイタルチェックを行うことで健康な生活を送ることができた。また、体調不良が見られた際には嘱託医への相談や通院を行うことで、大病になることなく元気に過ごすことができた。

3 余暇支援

①外出・休日余暇活動

余暇時間や休日を利用しホーム近辺の散策を兼ねて外出した。利用者間で行き先や食事について話し合い、利用者主体の計画で行うことに努めた。事前に店の場所やメニュー等の説明をすることで、当日を迎えるまで楽しみを持って過ごすことができた。

[実施回数] 年3回実施

[主な行き先] ファミリーレストラン、100円均一など

②誕生会

誕生者がリクエストした食事メニューを全員で食べる際、誕生者をお祝いするとともに、一年間健やかに過ごせたことを皆と感謝しながら、楽しい会食時間を過ごすことができた。

[実施回数] 年6回実施

③ 季節行事

春のお花見会は、曼陀羅寺の藤まつりに出かけ、公園内を散策したり、色々な出店で昼食を兼ねた買い物を楽しんだ。秋の十五夜には、月見のお供えを飾り、夕食の時間をゆっくり楽しんだ。年末の忘年会では、ホーム関係職員も一同に集まり、一年間の思い出を語り合ったり、利用者によるカラオケの出し物を演じたりして、利用者と職員が一緒になって楽しむことができた。

[実施回数] 年3回実施

4 地域生活支援

近隣施設が地域住民の方たちをお迎えし、合同で行う夏の納涼行事「地域・福祉施設合同納涼大会」へ参加した。夜間にかけての行事だったが、保護者も一緒になって夜店の雰囲気や盆踊りを楽しむことができた。また、月2回ある不燃ごみのゴミ出しの日は、指定の収集場所で地域の方たちと挨拶を交わしながら分別処理を行った。

[実施回数] 年1回実施

[主な行き先] ジョイフルむつみランド

5 入院時・外泊時の支援

外泊時は、必要に応じ家庭に連絡し、本人の状態把握等を行った。

6 バックアップ施設、関係機関との連携

日常よりバックアップ施設との連絡調整を行い利用者の活動を支援する中、連携を密に行った。また、緊急時や利用者の体調不良等の場合には、日中の時間帯はときわ作業所と連絡を取り対応を図った。

7 中期計画の平成29年度の取り組みについて

(1) 週末をホームで過ごす利用者の支援の充実について

週末帰省や外泊の減少により、思いどおりの行動ができず気持ちの浮き沈みが見られた際は、気分転換のために自室の様様替えも取り入れながら、掃除、洗濯、調理等、家事の幅が広がるよう支援した。また、近辺の散策や飲み物等を買うために外に出る機会も設けた。

安定した支援体制の確保に向け、家庭との外出等の連絡も早めに取りつつ、宿直対応職員を3名増加するなど、週末や休日・連休等にも継続的支援体制が取れるようにした。

平成29年度 ときわホーム 行事報告

月日	行事等	月日	関係団体行事
4. 5	誕生会		
29	曼陀羅寺花見会		
5			
6			
7.28	花火会	7.22	地域・福祉施設合同納涼大会 [合同行事運営委員会]
8.30	誕生会		
9.15	誕生会		
10. 9	お月見		
11.17	避難訓練		
23	外食会		
12.21	忘年会		
1.19	誕生会		
1.26	誕生会		
2.14	誕生会		
3.13	避難訓練		
[その他] 家族会 [4回実施]			

共同生活援助事業所の状況

1 契約状況（市町村別）

平成30年3月31日現在

市町村名	性別		合計	入居前の状況			
	男	女		入所施設	通所施設	在宅	入院
江南市	0人	5人	5人	0人	0人	5人	0人
一宮市	0	1	1	0	0	1	0
合計	0	6	6	0	0	6	0

2 障害支援区分別

平成30年3月31日現在

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
女	0	0	4	2	0	0	6
合計	0	0	4	2	0	0	6

3 年齢別

平成30年3月31日現在

性別	18歳未満	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計	平均年齢
男	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0歳
女	0	0	0	0	4	2	0	6	46.5
合計	0	0	0	0	4	2	0	6	46.5

4 月別利用状況

共同生活援助

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延べ人数	152人	149人	153人	156人	150人	157人
稼働日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日
1日当たり 平均利用人数	5.1人	4.8人	5.1人	5.0人	4.8人	5.2人
契約人数	6人	6人	6人	6人	6人	6人
利用率	84.4%	80.1%	85.0%	83.9%	80.6%	87.2%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用延べ人数	150人	153人	154人	138人	146人	160人	1,818人	152人
稼働日数	31日	30日	31日	31日	28日	31日	365日	30.4日
1日当たり 平均利用人数	4.8人	5.1人	5.0人	4.5人	5.2人	5.2人		5.0人
契約人数	6人	6人	6人	6人	6人	6人		
利用率	80.6%	85.0%	82.8%	74.2%	86.9%	86.0%		83.0%

利用率 定員6人に対し、1日平均利用人数5.0人 利用率83.0% 年間延べ1,818人が利用

年間稼働日数 365日

5 主な日中活動先

日 中 活 動 先		人数	
就 労		0人	
サ 障 害 ビ 福 祉 社	生活介護	6人	
	就労移行支援	0人	
	就労継続支援	A型	0人
		B型	0人
地域活動支援センター	I型	0人	
	II型	0人	
	III型	0人	
合 計		6人	

6 利用料収入の前年度比較

共同生活援助

	共同生活援助	特定障害者特別給付費	特定費用等	合計
29年度	8,068,119 円	720,000 円	1,944,000 円	10,732,119 円
28年度	7,703,721 円	720,000 円	1,944,000 円	10,367,721 円
差 引	364,398 円	0 円	0 円	364,398 円
前年比	104.7%	100.0%	100.0%	103.5%

平成29年度 江南市心身障害者小規模授産施設

事業報告書(案)

1 江南市心身障害者小規模授産施設の運営

設置主体 江南市
 経営主体 社会福祉法人 ときわ会
 事業種別 地域生活支援事業
 事業所名 江南市心身障害者小規模授産施設
 所在地 江南市後飛保町高瀬66番地
 事業内容と定員 地域活動支援センター(Ⅲ型)
 概ね15名(現員14名)
 対象者 市内在住の障害者(障害支援区分の区分制限なし)
 職員数 常勤5名(正規4名・契約1名)・非常勤1名 計6名

職員 (単位：人)

	施設長	事務員	指導員		合計
			副主任	指導員	
男	※ ₁ 1	※ ₂ 1	1	1	4
女				1 (1)	1 (1)
合計	1	1	3 (1)		5 (1)

() 内は非常勤職員数、別掲

※₁は、ときわ作業所施設長及びときわホーム施設長を兼務

※₂は、あゆみ事務員を兼務

2 事業総括

日中における生産活動の機会の提供及び食事や排せつ等の日常生活上の介護の他、創作的活動の機会を提供することにより、生活能力の向上に向け必要な支援を行った。

下請作業は、親会社の生産計画により時期による作業量の増減は見られたが、指定期日に遅れることなく仕上げることで、やりがいや責任感を養うことができた。

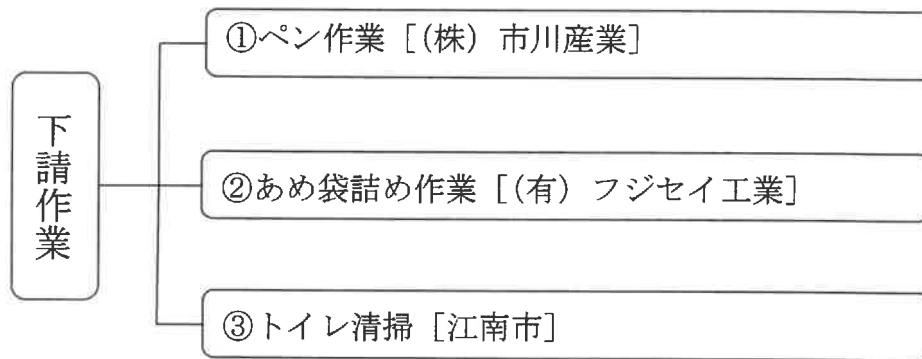
ガーデニングについては、利用者の希望を取り入れた季節に合わせた花や野菜を水やりや草取りをしながら育てることで、季節を感じる事ができた。また、個々のプランターで育てた朝顔の観察記録を作り、成長の過程を楽しみながら責任感を持って育てることができた。

健康支援は、利用者の体調把握に注視しつつ、看護師による健康チェック等を行うなど、快適に過ごせるよう努めた。

給食支援は、委託業者と連携し利用者が選択できる献立を取り入れることで、利用者の嗜好に合わせた提供ができた。

施設の稼働日数は254日、平均利用人数は12.9人で利用率は91.9%であった。

3 生産活動



4 中期計画の平成29年度の取り組みについて

※ときわ作業所と一体で実施

生産活動報告

下請作業

①ペン作業 [(株)市川産業]

作業の種類、工程共に多い仕事であるが、個々の利用者が理解して取り組むことのできる工程も増えてきており、丁寧かつ正確に行うことができた。資材の受け渡しは親会社の生産予定により急ぐこともあったが、事前に施設の日程等を調整しながら連携を図ることに加え、利用者も納期に合わせるという責任感を持つことで、納期に間に合うよう協力して取り組むことができた。

②あめ袋詰め作業 [(有)フジセイ工業]

食品を扱う為、手洗い、消毒を徹底することやあめの変形等の不良品選別を注意して行うことで「お客様が食べる物」と意識をすることができ、責任感を養うことができた。袋詰め作業の種類が増えたが、あめ玉の数や色の配列に注意し、やりがいを持って作業に取り組むことができた。

③トイレ清掃 [江南市]

トイレ清掃終了後の便器消毒や手洗い場等の衛生管理に努めた。清掃手順等一連の作業工程を事前に確認することで、利用者が責任を持って清掃作業に取り組めるようになった。

創作的活動報告

1 療育活動

※ときわ作業所と一体で実施

2 文化活動

①貼り絵、絵画、ストレッチ等

※ときわ作業所と一体で実施

②ガーデニング

利用者の希望や季節に合わせ金魚草やスイートピー、また、ヘチマによるグリーンカーテンを水やりや草取りをしながら育成することで、季節感や清涼感を得ることができた。さらには、個々のプランターに種から育てた朝顔の観察記録を作り、成長の過程を楽しみながら栽培することで責任感を養うことができた。

3 クラブ活動

※ときわ作業所と一体で実施

その他の活動報告

※ときわ作業所と一体で実施

行事報告

※ときわ作業所と一体で実施

平成29年度 江南市心身障害者小規模授産施設行事等報告

月 日	行 事 等		月 日	他団体協力バザー
5. 8	曼陀羅寺招待		4. 20	藤まつり
5. 20	県障害者スポーツ大会 (豊田市運動公園)	県社会福祉協議会	～5. 7	(偶数日参加)
7. 6	健康診断 (移動検診車)	名古屋公衆医学研究所	5. 28	こどもフェスティバル
7. 22	地域・福祉施設合同納涼大会	地域・施設合同委員会	6. 4	きそがわほのぼのまつり
7. 25	あゆみエンジョイSummer			
8. 3	水泳訓練 (木賀プール)	障害者 (児) 連絡協議会		
8. 24	歯科検診	尾北歯科医師会		
9. 14	社会見学 (恵那峡・多治見)			
9. 16	心身障害者 (児) スポーツ大会 (江南市民体育会館)	障害者 (児) 連絡協議会		
10. 6	いも堀り		9. 28	古知野高校文化祭
			10. 1	ふくし江南ふれあいまつり
			10. 7	江南市民まつり
			～ 8	
10. 29	第37回ときわバザー	ときわ作業所・小規模 ふじの木園・あゆみ合同		
11. 3	人にやさしい作品展			
～26	(すいとぴあ江南)			
11. 8	なかよし会 (江南市民体育会館)		11. 11	収穫祭
			～12	
			11. 26	コスモスまつり
12. 22	クリスマス会			
1. 17	交流会 (すいとぴあ江南)	ときわ作業所・小規模 ふじの木園・あゆみ合同		
2. 20	健康診断	藤原医師		
			2. 20	猫づくし展
			～25	
			3. 11	たけのこまつり
				いずみまつり
その他			事業所実習	
身体測定	12回実施		愛知教育大学	12名 (8月～12月)
誕生会	12回実施		尾北看護専門学校	11名 (1月～3月)
クラブ活動	12回実施			
経済活動	9回実施			
避難訓練	2回実施			
保護者会	12回実施			
医療相談	12回実施			

利用者の状況

1. 利用状況

平成30年3月31日現在

出身地	性別		合計	利用前の状況		
	男	女		在宅	他施設	学校
江南市	6人	8人	14人	0人	0人	14人
合計	6	8	14	0	0	14

2. 年齢別

平成30年3月31日現在

年齢	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計	平均年齢
男	0人	1人	5人	0人	0人	0人	6人	34.8歳
女	0	1	7	0	0	0	8	31.8
合計	0	2	12	0	0	0	14	33.1

3. 月別利用状況

平成30年3月31日現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延べ人数	276人	286人	288人	267人	253人	279人
稼働日数	21日	22日	22日	21日	20日	22日
1日当たり平均利用人数	13.1人	13.0人	13.1人	12.7人	12.7人	12.7人
契約人数	14人	14人	14人	14人	14人	14人
利用率	93.9%	92.9%	93.5%	90.8%	90.4%	90.6%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用延べ人数	280人	278人	278人	230人	264人	289人	3,268人	272.3人
稼働日数	22日	21日	22日	19日	20日	22日	254日	21.2日
1日当たり平均利用人数	12.7人	13.2人	12.6人	12.1人	13.2人	13.1人		12.9人
契約人数	14人	14人	14人	14人	14人	14人	168人	14.0人
利用率	90.9%	94.6%	90.3%	86.5%	94.3%	93.8%		91.9%

利用率 定員概ね15人のところ契約人員14人 平均利用人数12.9人 利用率91.9%

年間述べ3,268人が利用

年間稼働日数254日

4. 生産活動収入の状況

	金額
29年度	811,747円
28年度	838,488円
差引	-45,873円
前年比	94.8%

平成29年度 江南市在宅障害者デイサービス施設あゆみ 事業報告書(案)

1 あゆみの運営

設置主体 江南市
 経営主体 社会福祉法人 ときわ会
 事業種別 地域生活支援事業
 事業所名 江南市在宅障害者デイサービス施設あゆみ
 所在地 江南市後飛保町平野75番地2
 事業内容と定員 (1) 地域活動支援センター(Ⅱ型) 1日25名
 (2) 貸館事業 随時
 対象者 地域活動支援センター(Ⅱ型)
 市内在住の障害者(障害支援区分の区分制限なし)
 貸館事業
 障害者の介護者・障害者団体・ボランティア団体
 職員等 [職員]・常勤4名(正規4名)・非常勤8名 計12名
 [他]・講師(日常生活動作訓練・機能回復訓練・音楽療法
 和太鼓療法・書画・パソコン・ストレッチ) 計7名

職員 (単位:人)

	施設長 兼指導主幹	指導員	事務員	運転手	看護師	合計
男		1	※ ₁ 1	※ ₂ (3)		2 (3)
女	1	1 (3)			※ ₃ (2)	2 (5)
合計	1	2 (3)	1	(3)		4 (8)

()内は非常勤職員数、別掲

※₁は、小規模授産施設事務員を兼務

※₂は、内2名はときわ作業所生活支援員を兼務

※₃は、内1名はときわ作業所看護師を兼務

2 事業総括

基本事業である機能訓練、社会適応訓練、創作的活動などの地域活動支援センター一事業及び障害者団体等への貸館事業を行った。

地域活動支援センターの利用状況は、1名が重度化により在宅へ移行、1名が介護保険施設へ移行、1名が施設入所により計3名が退所され、3月31日現在で16名が契約し1日あたりの平均利用人数は7.9人であった。

事業面では、中期計画の内容に沿って、軽作業の取り組み方を検討、機能訓練を行う時間を取り入れた日課を試行的に実施した。また入浴、送迎サービスでは、入浴人数の拡充や送迎の緊急時対応として増便を継続して行い、利用者支援の向上に

努めた。その他、第3回目を迎えた「あゆみエンジョイ Summer」を開催し、法人内の利用者同士の交流の場、あゆみ利用者の和太鼓発表の場として盛況に実施することができた。

設備面においては、江南市と協議し、車椅子体重計と移動式簡易ベッドを整備した。日常の状態把握の他、毎月の体重測定を行うことで体重減少による体調不良者に対し早めに対応することができた。また移動式簡易ベッドは、利用者の体調不良時等には静かな場所にベッドを移動し、静養・休息していただくことができた。

合同行事としては、法人のときわバザーや交流会に参加し、利用者や地域の人々と交流を深めることができた。

事業内容

1 基本事業

① 機能訓練（5事業 129回実施）

ア 日常生活動作訓練（24回実施 169人利用）

日常生活上の身体の動作が合理的に運動できるよう、レザー製作をとおした訓練や軽運動を作業療法士の指導により月2回行った。

イ 機能回復訓練（72回実施 545人利用）

毎週金曜日と第1、第3木曜日に障害の状態や能力に応じた座位、立位、歩行訓練等の機能訓練を理学療法士の指導により行った。

ウ 家事訓練（12回実施 93人利用）

栄養バランスを考えた簡単な料理等を月1回行った。

エ 音楽療法（12回実施 99人利用）

心の癒しや機能回復の促進を図るため、講師の指導により月1回行った。

オ 和太鼓療法（12回実施 84人利用）

心の癒しや安定、機能の維持、回復の促進を図るため、講師の指導により月1回行った。

② 社会適応訓練（2事業 69回実施）

ア パソコン（48回実施 264人利用）

毎週金曜日に、自己表現や意思の伝達手段、インターネット等を講師の指導により行った。

イ ストレッチ (15回実施 121人利用)

軽運動やダンスをとおして自己の運動能力の維持、助長等を図るため、講師の指導により月2回行った。

③創作的活動 (2事業 239回実施)

ア 書画 (8回実50人利用)

絵画、習字をとおして自己表現や感性を磨き、手指機能の維持、回復を図るため、講師の指導により行った。

イ 軽作業 (231回実施 1,689人利用)

障害の状態や能力に応じてマット編み、レザー製品作り等を行った。

④レクリエーション (12回実施 106人利用)

レクリエーション活動を月1回行った。(社会見学、スポーツ大会、カラオケ等)

⑤入浴 (236回実施 1,514人利用)

家庭での入浴が困難な障害者に入浴サービスの提供を行った。

⑥送迎 (928回実施 2,326人利用)

自力通所や家庭送迎が困難な障害者が、一日でも多く利用できるよう送迎を行った。

⑦介護指導 (1回実施 7人参加)

消防署職員の指導のもと、異物除去の介護方法やAED(除細動器)を使った心肺蘇生法などについての講習を受けた。

⑧健康指導 (357回実施 357人利用)

障害者の疾病に留意し、血圧・検温のほか状態観察、健康管理、ケア等を行った。

2 合同行事

① 第37回ときわバザー

天候不順により会場規模は縮小となったが、ふじの木園、ときわ作業所を会場として各施設製品、保護者製品の販売、ゲーム等、様々なイベントを通して地域の人々と交流や施設、福祉についての理解を深めていただくことができた。

開催場所 ときわ作業所、ふじの木園（授乳スペース設置）畑

② 交流会

デイサービスあゆみの利用者が新成人を迎え、皆から祝福をいただく成人の集いが行われた。祝賀会では踊りや食事を通して、法人内の利用者同士の交流を深めることができた。また、江南市消防隊の演奏時にはステージ前で他施設・事業所の利用者と一緒に踊り、楽しい時間を過ごすことができた。

3 貸館事業

・施設利用（20回実施 220人利用）

市内の障害者団体及びボランティア団体等の施設利用に対する調整・管理を行った。

4 中期計画の平成29年度の取り組みについて

(1) 利用者サービスの向上について

ア 軽作業、講座、日課

利用者の障害等に応じた事業の在り方として、個々の心身の状態に合った軽作業の取り組み方を検討した。また、障害の重度化に対応するため身体機能の維持向上に向け、機能訓練を行う時間を取り入れた日課については、利用者の健康状態に留意しながら試行的に実施した。

イ 入浴、送迎サービス

入浴サービスについて、介助方法等を研究し取り組んだ結果、入浴人数の拡充に成果がみられ、介護者の負担軽減や利用者支援の向上を図ることができた。また送迎サービスについては、介護者の体調等の事情により通所できない利用者に対し緊急時対応として増便を継続している。

平成29年度 江南市在宅障害者デイサービス施設あゆみ行事等報告

(1) 行 事

月 日	行 事 等	
4.25	あゆみ田楽会	
7.25	あゆみエンジョイSummer	
9.20	避難訓練	
9.27	社会見学（日本昭和村）	
10.29	第37回ときわバザー	
11.3	人にやさしい作品展	障害者（児）連絡協議会
～26	（すいとぴあ江南）	
12.12	あゆみクリスマス会	
1.17	交流会（すいとぴあ江南）	
1.23	あゆみ新年会	
2.22	介護教室	
3.30	避難訓練	

(2) 視察・福祉体験学習など

月 日	内 容
5.23	見 学 [宮田小学校2年 24名]
7.27 ～.28	研 修 [尾北高校教師 2名]
8.1	福 祉 体 験 [古知野中学校 2名]
8.2	福 祉 体 験 [宮田中学校 1名]
8.4	福 祉 体 験 [古知野中学校 3名]
8.17	実 習 [中部学院大学 3名]
10.12	見 学 [宮田小学校2年 25名]

(3) バザー参加

月 日	他団体協力バザー
4.29	藤まつり

利用者の状況

平成30年3月31日現在

1 利用者年齢別 (単位:人)

年齢	男	女	計
20歳未満	0	0	0
20～29	3	0	3
30～39	3	2	5
40～49	1	2	3
50～59	0	2	2
60以上	2	1	3
合計	9	7	16

2 障害支援区分 (単位:人)

障害支援区分	男	女	計
6	4	3	7
5	0	0	0
4	2	1	3
3	1	1	2
2	0	1	1
1	0	0	0
非該当	2	1	3
合計	9	7	16

3 利用日数の構成 (単位:人)

利用日数	男	女	計
20日以上	6	4	10
10～19	1	2	3
1～9	2	1	3
合計	9	7	16

1 利用者の事業別利用状況

・事業日数 243日 ・利用延べ人員 1,929人 ・1日あたりの平均利用人員 7.9人

講座名	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		
	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	
機能訓練	日常生活動作訓練	2	17	2	13	2	15	2	14	2	17	2	16	2	11
	機能回復訓練	6	48	5	43	7	54	6	46	5	42	7	61	6	45
	家事訓練	1	7	1	8	1	9	1	9	1	8	1	10	1	7
	音楽療法	1	8	1	9	1	9	1	9	1	9	1	8	1	7
	和太鼓療法	1	8	1	8	1	9	1	6	1	7	1	7	1	7
小計	11	88	10	81	12	96	11	84	10	83	12	102	11	77	
社会適応訓練	パソコン	4	22	3	17	5	24	4	21	3	16	5	28	4	18
	ストレッチャ	2	18	1	8	2	17	2	17	1	9	2	16	2	14
	小計	6	40	4	25	7	41	6	38	4	25	7	44	6	32
	書画	1	7	0	0	1	8	1	6	0	0	1	7	0	0
	軽作業	19	155	20	155	22	175	18	132	18	138	19	143	21	138
小計	20	162	20	155	23	183	19	138	18	138	20	150	21	138	
レクリエーション	1	11	1	9	1	9	1	11	1	8	1	9	1	8	
入浴サービス	20	136	20	140	22	160	20	139	19	145	19	135	21	126	
送迎サービス	78	221	74	205	87	237	80	207	76	202	74	185	69	174	
更生相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
健康指導	36	36	36	36	29	29	34	34	30	30	27	27	37	37	
介護指導	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
苦情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計	135	404	131	390	139	435	135	391	126	385	121	356	128	345	
総計	172	694	165	651	181	755	171	651	158	631	160	652	166	592	

事業名	講座名	11月		12月		1月		2月		3月		合計		1回あたりの 平均利用状況
		回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	
機能訓練	日常生活動作訓練	2	12	2	16	2	12	2	13	2	13	24	169	7.0
	機能回復訓練	5	37	6	49	5	40	6	39	5	41	69	545	7.9
	家事訓練	1	8	1	7	1	7	1	7	1	6	12	93	7.8
	音楽療法	1	8	1	9	1	8	1	8	1	7	12	99	8.3
	和太鼓療法	1	6	1	8	1	5	1	6	1	7	12	84	7.0
小計	10	71	11	89	10	72	11	73	10	74	129	990	7.7	
社会適応訓練	パソコン	3	14	4	22	4	23	4	25	5	34	48	264	5.5
	ストレッチ	2	13	1	9	0	0	0	0	0	0	15	121	8.1
	小計	5	27	5	31	4	23	4	25	5	34	63	385	6.1
	書画	1	4	1	6	1	6	0	0	1	6	8	50	6.3
	軽作業	20	130	18	143	17	115	19	133	20	132	231	1,689	7.3
小計	21	134	19	149	18	121	19	133	21	138	239	1,739	7.3	
創作的活動	レクリエーション	1	8	1	9	1	9	1	8	1	7	12	106	8.8
	入浴サ－ビス	19	96	18	113	18	93	19	112	21	119	236	1,514	6.4(日)
	送迎サ－ビス	78	182	80	198	72	162	76	167	84	186	928	2,326	2.5(回)
	更生相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
	健康指導	30	30	27	27	22	22	22	22	27	27	357	357	1.0(日)
介護指導	0	0	0	0	0	0	1	7	0	0	1	7	—	
苦情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
小計	128	316	126	347	113	286	119	316	133	339	1,534	4,310		
総計	164	548	161	616	145	502	153	547	169	585	1,965	7,424		

2 貸館事業利用状況

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
回数・人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
平日利用	1	15	1	20	0	0	0	0	1	9	0	0	0	0
休日利用	1	6	1	6	1	8	1	8	1	6	1	6	1	6
合計	2	21	2	26	1	8	1	8	2	15	1	6	1	6

月	11月		12月		1月		2月		3月		合計		1ヶ月あたりの 平均利用状況	
回数・人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
平日利用	1	10	2	11	0	0	1	9	0	0	7	74	0.6	6.2
休日利用	1	6	2	64	1	10	1	10	1	10	13	146	1.1	12.2
合計	2	16	4	75	1	10	2	19	1	10	20	220		

3 見学者等の状況

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
回数・人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
見学者	0	0	1	24	0	0	0	0	0	0	0	0	1	25
実習	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0
研修・体験	0	0	0	0	0	0	2	4	3	6	0	0	0	0
苦情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	1	24	0	0	2	4	4	9	0	0	1	25

月	11月		12月		1月		2月		3月		合計		1ヶ月あたりの 平均利用状況	
回数・人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
見学者	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	50	0.3	4.2
実習	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0.1	0.3
研修・体験	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	7	12	0.6	1.0
苦情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
合計	1	1	0	0	0	0	2	2	0	0	11	65		

